

Ⅱ. 被災地における交通サービス等の提供状況

< 目 次 >

A 地震・津波による被害が甚大な沿岸地域における

交通サービス等提供状況…… P 31

(具体の都市における交通サービス等の提供状況)

参考① 陸前高田市における交通サービス等の提供状況…… P 105

参考② 気仙沼市における交通サービス等の提供状況…… P 131

参考③ 釜石市における交通サービス等の提供状況…… P 167

B 地震・津波による被害を被った地域における

交通サービス等提供状況…… P 181

C 東電福島原子力発電所事故に伴う交通への影響と対応状況

…… P 207

D 首都圏の交通への影響とその後の取り組み…… P 219

A 津波による被害が甚大な地域における

交通サービス等の提供状況

A 津波による被害が甚大な地域における交通サービス等の提供状況

- 鉄道や自家用車に大きな被害が生じたことから、バスを中心とした交通サービスが提供された。
- 被災者のニーズや日常生活の再開状況に対応した交通サービスが提供された。
- 交通事業者や自治体が主要な交通サービスを提供するとともに、地域や NPO などによる補完的な取り組みが行われた。
- 移動販売・訪問診療等様々な手段によりサービスが提供された。

○緊急対応期(発災後概ね1週間)

発災直後は、自治体の要請を受けバス事業者等により、被災者の避難所への輸送や遺体安置所の送迎といった緊急的な輸送が行われた。バス事業者は本社と営業所の間で連絡が取れない中で、現地営業所の判断による対応が行われた。

また、公共的な交通サービスが十分に提供されない中で、避難者同士の相乗り・送迎など地域の共助による取り組みも行われていたとの事例も見受けられた。

○応急期(発災後概ね1週間から1か月まで)

発災後概ね1週間からは、通院、入浴など最低限の生活を確保するため、避難所と医療施設、入浴施設などを結ぶバス運行等の臨時的な交通サービスが提供された。

また、幹線道路が早期に復旧し、バスの高速道路の通行が許可されたことで、甚大な被害を受けた沿岸部と被害の少ない内陸部の都市や代替機能を果たす空港や新幹線駅までの高速バスや鉄道代替バスが運行された。

○復旧期(発災後概ね1か月以降)

発災後1か月以降は、学校再開など日常生活の再開状況に合わせて、スクールバス、地域内巡回バスなどの交通サービスが提供された。また、仮設住宅へ移行に合わせ、仮設住宅に配慮した交通サービスも開始された。

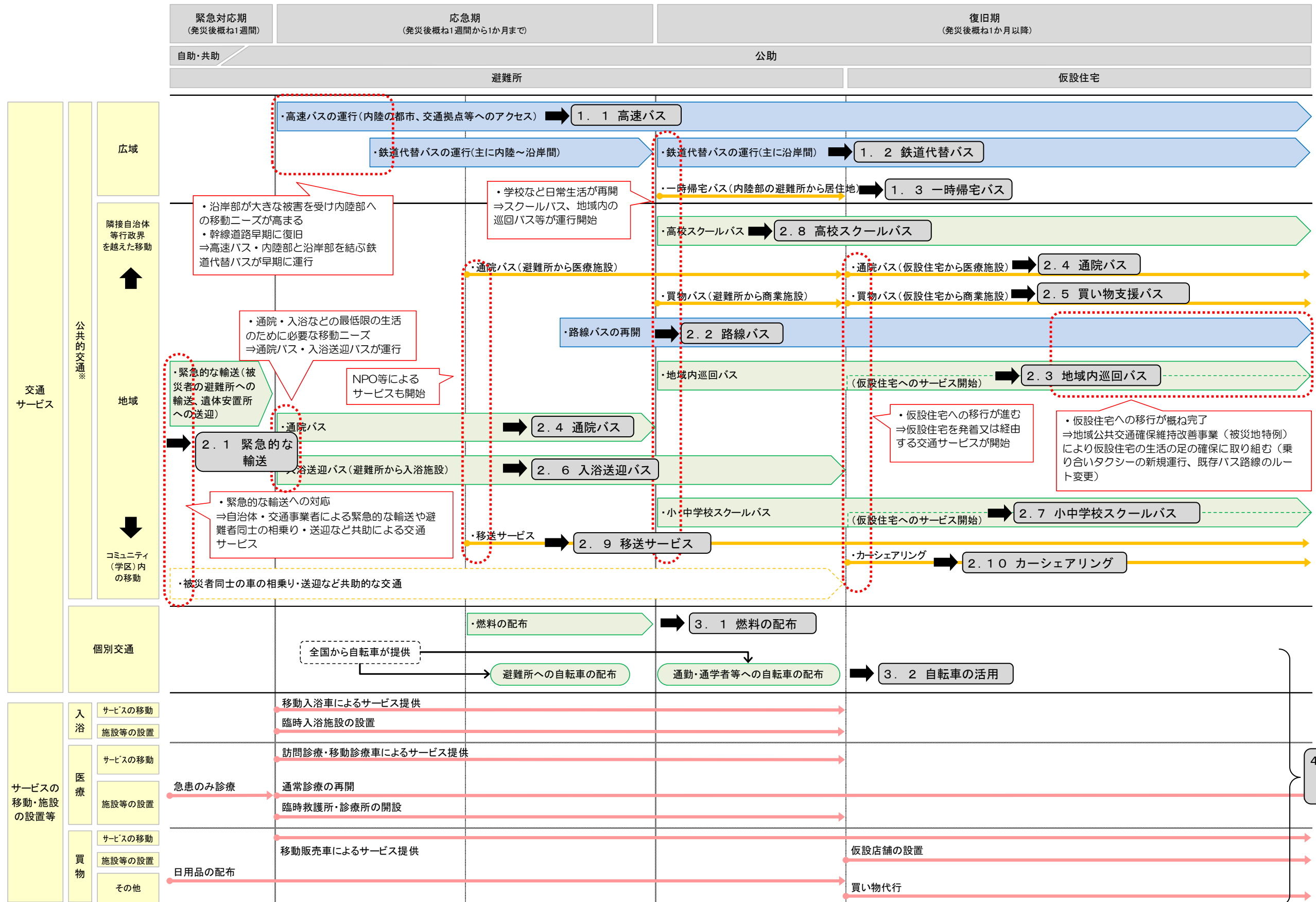
○交通サービスの担い手

発災直後は、自治体や交通事業者により主要な交通サービスが提供される一方で、時間の経過とともに、NPO 等により高齢者・障がい者等を対象とした移動支援や避難所独自の取り組み(一時帰宅バス、カーシェアリングなど)も行われ、補完的な役割を果たした。

○様々な手段によるサービス提供

身近な生活利便施設等が被災した中で、移動販売、訪問診療といったサービス・モノの移動など様々な手段により、被災者に対し各種サービスが提供された。

津波による被害が甚大な地域における交通サービス等の提供状況



※公共交通: 不特定多数利用者に向けた交通サービス(交通事業者、自治体、NPO等による)

■交通サービスの担い手
 主に交通事業者 主に自治体 その他 サービスの移動・施設の設置等

<提供された交通サービスと対応した主な移動目的>

地震・津波による被害が甚大な沿岸地域で提供された交通サービスと対応した移動目的（想定を含む）を整理した。被害が甚大な沿岸地域では、災害時特有の移動目的が発生するとともに、平常時とは異なる様々な方法により、これらに対応する交通サービスが提供された。

概ねの提供開始時期	交通サービス	主な担い手	目的	対応した主な移動目的 (想定を含む)
緊急対応期 (発災後概ね 1週間)	緊急的な輸送	自治体/交通事業者	災害時特有	被災者の避難所への輸送
			災害時特有	軽症者の医療機関への輸送
			災害時特有	家族等の安否確認(避難所や遺体安置所への送迎)
	被災者同士の 車の相乗り・送迎	その他 (被災者)	通院	避難所から医療機関への通院
			災害時特有	行方不明者捜索(他の避難所等への移動)
応急期 (発災後概ね 1週間から 1ヶ月まで)	高速バス	交通事業者	帰宅	来訪者の被災地から首都圏への帰宅
			災害時特有	内陸部への避難
			通院	内陸部への通院
			買物	内陸部への買い物
	鉄道代替バス (主に内陸部～沿岸部間)	交通事業者	通院	内陸部への通院
			買物	内陸部への買い物
			災害時特有	内陸部からの家族の見舞(救援物資を届ける)
	通院バス	自治体	通院	被災地で再開された医療機関への通院
		その他 (医療機関・NPO等)	通院	都市部や隣接自治体の医療機関への通院
	入浴送迎バス	その他 (自衛隊等)	災害時特有	自衛隊等が設置した入浴施設へ入浴
	移送サービス	その他 (NPO等)	通院	高齢者や障害者の通院
			買物	高齢者や障害者の買い物
	燃料の配布	自治体	通院	避難所からの通院
買物			避難所からの買い物	
避難所への 自転車の配布	自治体 (自転車は全国から提供)	買物	避難所生活での短距離の移動 (買い物などでの利用が想定される)	
復旧期 (発災後概ね 1ヶ月以降)	鉄道代替バス (主に沿岸部間)	交通事業者	通学	学校等の再開に伴い通学の足として運行
	一時帰宅バス	その他 (避難先自治体、NPO等)	災害時特有	内陸部への避難者が被災地の自宅へ一時帰宅
	高校スクールバス	自治体 (県教育委員会)	通学	学校の被災による遠距離通学者の通学
	買物バス	その他 (商業施設)	買物	避難所や仮設住宅からの買い物
	路線バス	交通事業者	通院	被災地内での医療機関の再開に伴う通院
			買物	被災地内での商店などの再開に伴う買い物
	地域内巡回バス	自治体	通院	避難所・仮設住宅からの通院
			買物	避難所・仮設住宅からの買い物
			災害時特有	被災に伴う役所手続き
	小・中学校スクールバス	自治体	通学	学校の被災による遠距離通学者の通学
	カーシェアリング	その他 (NPO等による支援)	買物	仮設住宅からの買い物
通院			仮設住宅からの通院	
通勤・通学者等への 自転車の配布	自治体 (自転車は全国から提供)	通勤	通勤先の再開に伴う通勤	
		通学	学校の再開に伴う通学	

☐: 災害時特有の目的

平常時の主な 移動目的	通勤	買物	観光・行楽・レジャー (日常生活圏外)	業務
	通学	帰宅	食事・社交・娯楽 (日常生活圏内)	通院

1 広域交通

1.1 高速バス

地震・津波による被害が甚大な沿岸地域で運行された高速バスは「内陸部の拠点都市等へ向かう高速バス」と「被害の大きな地域から首都圏へ向かう高速バス」の大きく2つに分類される。

1) 高速バス（内陸部の拠点都市等への移動）

- ・震災直後の被災地から首都圏等への移動には、山形空港または、上越新幹線を利用したルートが想定された。どちらにも移動可能な山形行のバスは、再開が早く利用者が集中したため、増便して運行された。
- ・東北新幹線が福島まで運行再開した4月12日からは、福島で東北新幹線と接続する高速バスの運行本数が増加した。

■運行状況

運行再開日	運行区間	往復	バス事業者
3/16(水)	宮古～盛岡	12	岩手県北バス
3/17(木)	久慈～盛岡	2	岩手県北バス
3/18(金)	釜石～盛岡	2	岩手県交通
3/19(土)	大船渡～盛岡	4	岩手県交通
3/19(土)	陸前高田～盛岡	1	岩手県交通
3/19(土)	石巻～仙台	24	ミヤコーバス
3/19(土)	気仙沼～仙台	6	ミヤコーバス
3/20(日)	気仙沼～一ノ関・千厩	8	岩手県北バス
3/22(火)	千厩・気仙沼～盛岡	2	岩手県交通
3/25(金)	新地・相馬～仙台	4	福島交通、 宮城交通

※運行本数は4月12日時点のもの

(国土交通省資料から整理)

事例 No	1	時期	応急期	類型	高速バス①
名称等	高速バスの運行				
担い手	宮城交通とミヤコーバス				
概要	石巻市と仙台市を結ぶ高速バスの運行が 3/19 に再開。JR 仙台駅前と石巻消防署隣接地を当面 1 日 4 往復する。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(読売新聞 2011 年 8 月 14 日)

事例 No	2	時期	応急期	類型	高速バス①
名称等	高速バスの運行				
担い手	ミヤコーバス				
概要	ミヤコーバスが本塩釜駅から仙台への臨時バスを3往復運行。				

●「仙台行の臨時バス」が、23日から運行開始。当面、本塩釜駅アクアゲート口～仙台駅前の臨時バスが3往復運行（※ミヤコーバス）。料金は片道700円（現金のみ・バスカードは利用できません）。並んだ順での乗車、満席の場合は立席。燃料不足のため、各便1台限定（約60人乗）の運行。満席の場合でも、続行便はありません。

本塩釜駅 アクアゲート口		仙台駅前（青葉通 内銀行前27番）		仙台駅前（緑林ビル前 ドーム前30番）		本塩釜駅 アクアゲート口
8:00	→	9:10		10:00	→	11:10
11:30	→	12:40		14:30	→	15:40
16:00	→	17:10		17:30	→	18:40

（塩竈市災害対策本部ニュース第18号 2011年3月23日）

事例 No	3	時期	応急期	類型	高速バス①
名称等	高速バスの運行				
担い手	ミヤコーバス				
概要	JR線の不通や一般自動車の高速道路通行の規制に伴い、3/18から仙台-気仙沼間の高速バスをミヤコーバスが運行開始。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(三陸新報号外 2011年3月19日)

【参考：市町村による独自支援】

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(岩手日報 2011年3月21日)

2) 高速バス（首都圏等への移動）

- ・被災地と首都圏を直接結ぶバスは、高速バスに緊急交通路通行の認可が下りた3月15日以降に運行された。
- ・東北地方と首都圏を結ぶバスの輸送力は、震災以前に比べるとおよそ2.7倍に増えた。特に、仙台や盛岡と首都圏を結ぶ路線の輸送力の増加が著しい。

■被害の大きな地域から首都圏への高速バスの運行状況

運行再開日	運行区間	往復	バス事業者
3/18(金)	宮古・盛岡～浜松町・品川	2	岩手県北バス、京浜急行バス
3/19(土)	仙台・石巻～新宿	1	京王電鉄バス、宮城交通
4/4(月)	釜石・遠野～上野・池袋	1	国際興業、岩手県交通、国際興業観光バス
4/8(金)	気仙沼～池袋	1	岩手県交通

※往復数は4月12時点のもの

(国土交通省自動車交通局4月12日発表資料から整理)

■震災前後の輸送力の変化（4月11日現在）

	首都圏～東北方面			首都圏～仙台方面			首都圏～盛岡方面		
	地震前 (①)	現在 (②)	割合 (②/①) ×100	地震前 (①)	現在 (②)	割合 (②/①) ×100	地震前 (①)	現在 (②)	割合 (②/①) ×100
路線数	30 路線	31 路線	103%	7 路線	8 路線	114%	3 路線	3 路線	100%
運行回数	66 往復	81.5 往復	123%	13 往復	20.5 往復	158%	5 往復	6 往復	120%
使用台数 (片道/1日)	66 台	151.5 台	230%	13 台	43.5 台	335%	5 台	22 台	440%
輸送力(※)	1,980 人	5,275 人	266%	390 人	1,620 人	415%	150 人	700 人	467%

(国土交通省自動車交通局4月12日発表資料から整理)

事例No	4	時期	応急期	類型	高速バス②
名称等	高速バスの運行				
担い手	岩手県交通、京浜急行バス				
概要	京浜急行バスは3月18日から都心と三陸海岸を結ぶ高速バスの運行を再開。11日の震災後、都心から三陸海岸を結ぶバスとしては、初の運行再開。上下線とも1日1便(1便29席)で浄土ヶ浜パークホテルへは当面乗り入れない。				

京浜急行バス3月18日(金)から震災後初 都心から三陸海岸を結ぶ高速バス運行再開

品川～盛岡南・宮古行き高速バス「ビーム1号」

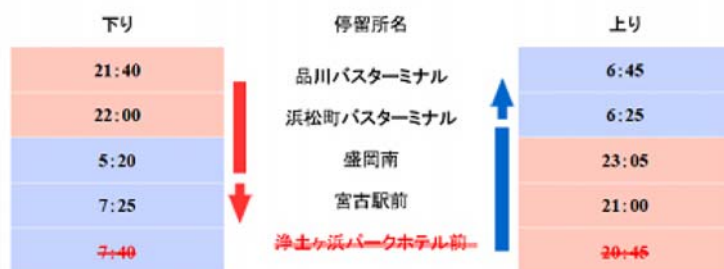
京急グループの京浜急行バス株式会社(本社:東京都港区、社長:宮沢和徳)では、東北地方太平洋地震の影響により品川～盛岡南・宮古行き高速バス「ビーム1号」を運休しておりましたが、3月18日(金)品川バスターミナル21時40分発便から、運行を再開いたします。

当該バスは、羽田京急バスと岩手県北自動車で共同運行をしており、通常、品川から岩手県宮古市間を8時間45分で結んでいる高速バスで、震災後、都心から三陸海岸を結ぶバスとしては、初の運行再開になります。

また、同じく運休しておりました、品川～弘前・五所川原間を結ぶ「ノクターン号」(弘南バスと共同運行)を3月20日(日)から運行いたします。

1. 品川～盛岡南・宮古行き高速バス「ビーム1号」運行再開概要

- (1)再開日時 2011年3月18日(金)
- (2)本数 上下線各1便(原則1便1台の運行)(1便29席)
- (3)区間 品川バスターミナル・浜松町バスターミナル～盛岡南・宮古駅前
※ 浄土ヶ浜パークホテルへは当面の間、乗り入れません。
- (4)出発時刻 上り 宮古駅前発 21時
下り 品川バスターミナル発 21時40分
※出発は定刻を予定しておりますが、速度規制等により到着時刻に遅れる場合があります。
- (5)予約方法 上り品川行きは電話でのみ岩手県北自動車盛岡南営業所で承ります。
TEL:019-637-1100※電話は大変かかりにくくなっております。
下り宮古行きは電話でのみ京急高速バス座席センターで承ります。
受付時間9:00～18:30 TEL:03-3743-0022
- (6)金額 片道
品川バスターミナル・浜松町バスターミナル～盛岡南間 7,600円
品川バスターミナル・浜松町バスターミナル～宮古駅前間 9,170円



(京急電鉄オフィシャルサイト発表資料 2011年3月18日)

事例No	5	時期	応急期	類型	高速バス②
名称等	高速バスの運行				
担い手	岩手県交通、国際興業、国際興業観光バス				
概要	震災の影響により運休していた夜行高速バス「遠野釜石号」の運行再開。1日1便の運行で、池袋駅西口と遠野・釜石を結ぶ。				

平成23年4月1日

夜行高速バス・遠野釜石号 運行再開のお知らせ

東北太平洋沖地震の影響で運休しておりました夜行高速バス・遠野釜石号を**4月4日(月)**の出発便より運行を再開致します。遠野釜石号は予約制になっておりますので、事前に乗車券をお求めの上、ご乗車をお願い致します。

運行時刻

《池袋行き》	停留所名	《釜石行き》
21:20発	大槌駅前	7:52着
21:26発	鶴住居	7:46着
21:34発	釜石中央(岩手銀行前)	7:38着
21:40発	釜石駅前	7:35着
21:47発	釜石営業所	7:28着
22:27発	遠野駅前	6:50着
22:44発	道の駅遠野風の丘	6:33着
23:07発	道の駅みやもり	6:10着
23:25発	道の駅とうわ	5:52着
23:36発	新花巻駅前	5:42着
↓	↓	↓
6:22着	上野駅	23:05発
6:31着	秋葉原駅	22:55発
7:00着	池袋駅西口	22:25発

※池袋行きの場合、新花巻駅までは『乗車のみ』、上野駅からは『降車のみ』となります。
釜石行きの場合、上野駅までは『乗車のみ』、新花巻駅からは『降車のみ』となります。

運賃

	停留所	片道		往復	
		大人	小児	大人	小児
上野駅 秋葉原駅 池袋駅西口	大槌駅前	9,000	4,500	16,200	8,100
	鶴住居				
	釜石中央(岩手銀行前)	8,970	4,490	16,150	8,080
	釜石駅前				
	釜石営業所	8,500	4,250	15,300	7,650
	遠野駅前				
	道の駅遠野風の丘	8,100	4,050	14,580	7,290
	道の駅みやもり				
道の駅とうわ	7,800	3,900	14,040	7,020	
新花巻駅前	7,650	3,830	13,770	6,890	

※7日以内に往復でご利用の場合、往復割引が適用されます。

※震災により大槌駅前・鶴住居・釜石中央(岩手銀行前)・釜石駅前は当面の間、休止致します。

(岩手県交通発表資料 2011年4月1日)

事例No	6	時期	応急期	類型	高速バス②
名称等	夜行バスの運行				
担い手	県交通など4社が共同運行				
概要	震災の影響により運休していた夜行高速バス「けせんライナー号」の運行再開。1日1便の運行で、池袋駅西口と気仙沼駅を結ぶ。				

平成23年4月6日

夜行高速バス・けせんライナー号 運行再開のお知らせ

東日本大震災の影響で運休しておりました夜行高速バス・けせんライナー号ですが一部経路を短縮し運行を再開致します。けせんライナー号は予約制になっておりますので、事前に乗車券をお求めの上、ご乗車をお願い致します。

- 運行開始日
上り便：平成23年4月8日（金）出発便
下り便：平成23年4月9日（土）出発便より
- 運行経路
気仙沼・千厩・一関⇄池袋（釜石～陸前高田間は休止致します）
- 運行便について
当面の間、けせんライナー号は4列シートのトイレ無しの車両で運行致します。
- 運行時刻

上り便

気仙沼駅前	22:25
千厩バスターミナル	23:08
一関駅前	23:50
	↓
池袋駅西口	5:39

下り便

池袋駅西口	23:00
	↓
一関駅前	4:49
千厩バスターミナル	5:25
気仙沼駅前	6:07

※ 「気仙沼市役所前」停留所は車両進入が困難な為、「気仙沼駅前」停留所で乗降の取扱を致します。

- 運賃

	池袋駅西口～	気仙沼駅前	千厩BT	一関駅前
片道	大人	7,650	7,240	6,830
	小児・大人身障	3,830	3,620	3,420
	小児身障	1,920	1,810	1,710
往復	大人	13,670	12,930	12,190
	小児	6,840	6,470	6,100

（岩手県交通発表資料 2011年4月6日）

1.2 鉄道代替バス

- ・沿岸部を南北方向に結ぶ鉄道の代替バスは、地域を東西に結ぶ鉄道や内陸部の鉄道の代替バスに比べて運行開始が遅かった。
- ・これらの区間では、隣接する区間で鉄道の運行が再開や運休区間の沿線で学校が再開などの要因に合わせて代替バスが運行された。

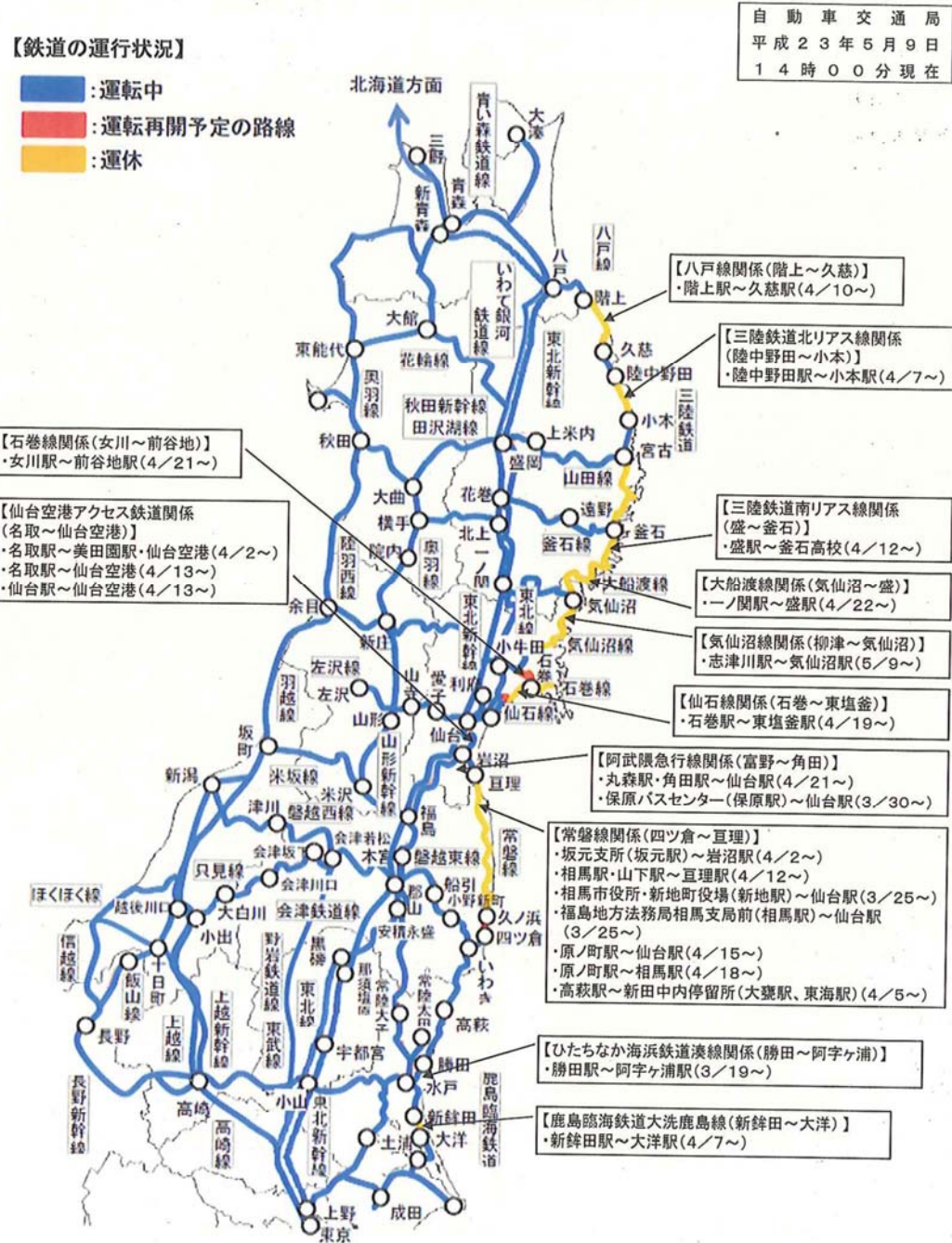
■鉄道路線別代替バスの運行開始日

鉄道	区間	運行開始日	関連事象
三陸鉄道北リアス線	陸中野田駅～小本駅	4/7	全線運休(2012年3月末現在)
八戸線	階上駅～久慈駅	4/10	八戸線「八戸駅～階上駅」の再開(4/10)
三陸鉄道南リアス線	盛駅～釜石高校	4/12	山田線「盛岡駅～宮古駅」の再開(4/13)
仙石線	石巻駅～東塩釜駅	4/19	仙石線「あおば通駅～東塩釜駅」の再開(4/19)
石巻線	女川駅～前谷地駅	4/21	石巻線「小牛田駅～前谷地駅」の再開(4/17)
大船渡線	一ノ関駅～盛	4/22	大船渡線「一ノ関駅～気仙沼駅」の再開(4/18)
気仙沼線	志津川駅～気仙沼駅	5/9	「前谷地～柳津」の再開(4/29)、気仙沼線沿線高校(7校)の再開(5/9)

(国土交通省自動車交通5月9日局発表資料から整理)

事例 No	7	時期	復旧期	類型	鉄道代替バス
名称等	J R 気仙沼線振替輸送バスの運行				
担い手	ミヤコーバス				
概要	被害が大きかった沿岸部の地域では、代替バスは4月に入ってから運行が始まった。J R 気仙沼線の気仙沼駅～志津川駅（南三陸町）間は、ミヤコーバスにより運行されたが、J R の定期券や回数券も利用可能とした。				

震災に対応した鉄道代替バスの運行状況



(国土交通省作成資料 2011年5月9日)

1.3 一時帰宅バス

- ・沿岸部の被害が甚大だった地域から内陸部の市町村へ避難した人のために、被災した自宅周辺の片づけや情報収集等のための無料シャトルバスが運行された。
- ・一時帰宅を目的としたシャトルバスは、花巻市やNPO 法人が主体となって運行された。

■一時帰宅バスの運行状況

運行主体	運行頻度	取組み概要
岩手県 花巻市	週1便ずつ (3ルート)	花巻市が、沿岸部へ無料連絡バスを週に1回運行。避難人数の多い釜石市、大槌町方面2ルート、陸前高田市方面1ルートを往復。
NPO いわて地域づくり支援センター	週2便	NPO 法人いわて地域づくり支援センターは週に2回、西和賀町内に避難した陸前高田市民を陸前高田に送迎するバスを運行。

(各運行主体のHP や新聞記事などをもとに整理)

事例 No	8	時期	復旧期	類型	一時帰宅バス
名称等	沿岸への無料連絡バス				
担い手	岩手県花巻市				
概要	花巻市では 4/28 から沿岸から市内への温泉施設等に避難した被災者のため、沿岸部へ無料連絡バスを運行。週に 1 回。避難人数の多い釜石市、大槌町方面 2 ルート、陸前高田市方面 1 ルートを往復運行。利用者は被災先の相談コーナーで運行の 2 日前までに申し込み。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「沿岸へ無料連絡バス運行 花巻市 避難者の不安解消へ」、岩手日報 2011 年 4 月 29 日)

事例 No	9	時期	復旧期	類型	一時帰宅バス
名称等	一時帰宅バス				
担い手	NPO いわて地域づくり支援センター				
概要	NPO 法人いわて地域づくり支援センターは 5/17 から週に 2 回、西和賀町内に避難した避難者（陸前高田市民）を陸前高田に送迎するバスを運行。避難者が西和賀町から次の場所に移るまで運行。				

西和賀から陸前高田へ送迎バス運行中！

5月17日から、週2日、西和賀町内に避難している方を陸前高田に送迎するバスを運行しています。火曜日は役場の車、木曜日は町内の老人ホーム光寿苑さんの協力を得て、実現しました。

17日と19日は初めての運行だったので、私も同乗し、皆さんと一緒に陸前高田に向かいました。両日とも10人前後の利用希望があり、朝8時に出発し、陸前高田に11時ごろ到着、帰りは15時に高田を出発、西和賀には18時過ぎに到着の予定です。

光寿苑さんは、普段お年寄りの方を送迎しているので、運転手さんも大変丁寧で、皆さん安心して乗車することが出来ました。

4月上旬に西和賀に来た方もいるので、久しぶりに陸前高田を見る方もいて、「わあ、すっかり片付いている」という声も。中には、「もう見たくない」とおっしゃられる方もいました。

気仙町で降りる方、仮庁舎で降りる方、親戚の家のそばで降りる方、皆さんめいめいに用事を済ませ、無事に15時の集合で全員が集まり、帰途に着きました。

「とっても助かった」そう言ってもらってひとつ、ほっとしました。こちらでお手伝いできることは本当に少しだけど、少しは役に立てたのなら。

道中、横田あたりで、田んぼをやろうとしているのを発見。こっちが励まされます。

一時帰宅バスは、西和賀に避難されている方が無事に全員次の場所に移る日まで運行します。

(NPO いわて地域づくり支援センターHP)

2 地域交通

2.1 緊急的な輸送

- ・発災直後は、自治体の要請を受けバス事業者等により、被災者の避難所への輸送や遺体安置所の送迎といった緊急的な輸送が行われた。バス事業者は本社と営業所の間で連絡が取れない中で、現地営業所の判断による対応が行われた。

■遺体安置所送迎バス

実施主体	取り組み概要
釜石市、自衛隊、岩手県交通	道路が寸断された孤立した集落から、被災者を救出するため、自衛隊のヘリコプターと岩手県交通（釜石市からの依頼）のバスにより、被災者を内陸の避難所まで輸送した。
名取市、仙南交通	宮城県名取市では、発災の数日後からコミュニティバス（なとりん号）を運行する仙南交通が被災者の被災した地区の見学や遺体安置所を送迎するための「災害復興支援バス」を運行した。
宮城県 仙台市	被災した各市町村では、遺体安置所がある「グランディ21」へ無料バスを運行。仙台市では、燃料不足を考慮して仙台駅前から1日4回、市内を回って安置所と結ぶ。

（各HPや新聞などから整理）

事例 No	10	時期	緊急対応期	類型	緊急的な輸送
名称等	被災者の避難所への輸送				
担い手	釜石市、自衛隊、岩手県交通				
概要	道路が寸断された孤立した集落から、被災者を救出するため、自衛隊のヘリコプターと岩手県交通（釜石市からの依頼）のバスにより、被災者を内陸の避難所まで輸送した。				

太平洋に突き出す箱崎半島に集落が点在する釜石市箱崎町は、震災後、道路が寸断され完全に孤立した。

被災翌日の3月12日、同市両石町から10キロ近くを踏破した陸上自衛隊第21普通科連隊（秋田市）の隊員が到着。ヘリによるピストン輸送などで14日までに全住民を救出した。


住民は、まず内陸の市の体育館等までヘリコプターで輸送され、そこから、さらに市内の避難所へ、バスで輸送を行った。

なお、陸上自衛隊東北方面隊は、2008年秋、岩手、宮城両県で宮城県沖地震津波を想定した1万6千人規模の震災対処訓練「みちのくALERT（アラート）」を行い、各部隊が担当市町村を受け持ち、実践的な訓練を実施している。

同隊はその後も釜石市と密接に連携し、災害発生時の対応を検討。孤立の恐れがある集落の把握のほか、部隊の活動拠点やヘリポートの適地選定、地元自治体や警察、消防など関係機関との連携強化に努めてきたため、スムーズな救助につながった。

（資料：岩手県交通釜石営業所へのヒアリング結果、岩手日報（2011.6.10））



事例 No	1 1	時期	緊急対応期	類型	緊急的な輸送
名称等	災害復興支援バス				
担い手	名取市、仙南交通				
概要	宮城県名取市では、発災の数日後からコミュニティバス（なとりん号）を運行する仙南交通が被災者の被災した地区の見学や遺体安置所を送迎するための「災害復興支援バス」を運行した。				
<ul style="list-style-type: none"> 宮城県名取市では、発災の数日後からコミュニティバス（なとりん号）を運行する仙南交通が「災害復興支援バス」としてボランティアで、以下のバスを運行させた。 3/14 朝に市役所で今後のコミュニティバスの運行について協議する中で、市から依頼を受け、現場での調整を行いながら運行させた。 <p>① 関上・下増田地区の被災地見学バス（大型バス）</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月16～27日までの間、市の要請に応じて、名取市役所と避難所から、津波で大きな被害を受けた関上・下増田地区を巡回するバスを運行した。 被災者の自宅の被災状況の確認のために利用された。 市役所の担当者も同乗し、行き先の指示を受けながらの運行であった。 <p>② 遺体安置所送迎バス（中型バス）</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月17～27日までの間、主に市役所と遺体安置所（ボウリング場跡）を結ぶバスを運行した。運行時間は朝9時から15時まで。 また、被災者の希望に応じて、避難所から遺体安置所までの間も、随時運行した。 道路の状況をあらかじめ乗用車で確認し、運行ルートを決めた。 <p style="text-align: center;">＜災害復興支援バス運行の様子＞</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right;">（資料：仙南交通提供）</p>					

事例 No	12	時期	緊急対応期	類型	緊急的な輸送
名称等	遺体安置所への無料バス運行				
担い手	仙台市				
概要	被災した各市町村では、遺体安置所がある施設への無料バスを運行。仙台市では、仙台駅前から1日4回出発し、市内を回って安置所に向かう。				

遺体安置所がある利府町のグランディ21まで無料バスを運行します

平成23年3月19日

(担当)健康福祉局生活衛生課
(電話)022-214-8205

仙台市では、3月19日(土)から、市民の皆様の移動手段として、遺体安置所のある利府町グランディ21まで無料バスを運行しております。

さくら野百貨店西側を出発し、六郷交番前、七郷市民センター、高砂駅前からも乗降可能です。

このバスは、交通手段を持たない方が身元の確認を行うことを目的としていますので、一般の方はご乗車できません。なお、満車の際は、乗車できない場合がありますので、ご了承ください。

往路、「さくら野百貨店西側」15:45発のバスについては3月20日(日)以降の運転を取り止めますので、ご了承下さい。

遺体安置所行きバス(さくら野百貨店西側⇒グランディ21)時刻表

往路

仙台駅前 (さくら野百貨店西側)	六郷交番前	七郷市民センター前	高砂駅前	グランディ21
8:00	8:30	8:40	9:00	9:30
11:45	12:15	12:25	12:45	13:15
13:45	14:15	14:25	14:45	15:15

復路

グランディ21	高砂駅前	七郷市民センター前	六郷交番前	仙台駅前 (さくら野百貨店西側)
11:00	11:30	11:50	12:00	12:30
14:00	14:30	14:50	15:00	15:30
18:00	18:30	18:50	19:00	19:30

※運行状況については、仙台市交通局(022-712-8321)にお問い合わせください。

(仙台市報道発表資料 2011年3月19日)

2.2 路線バス

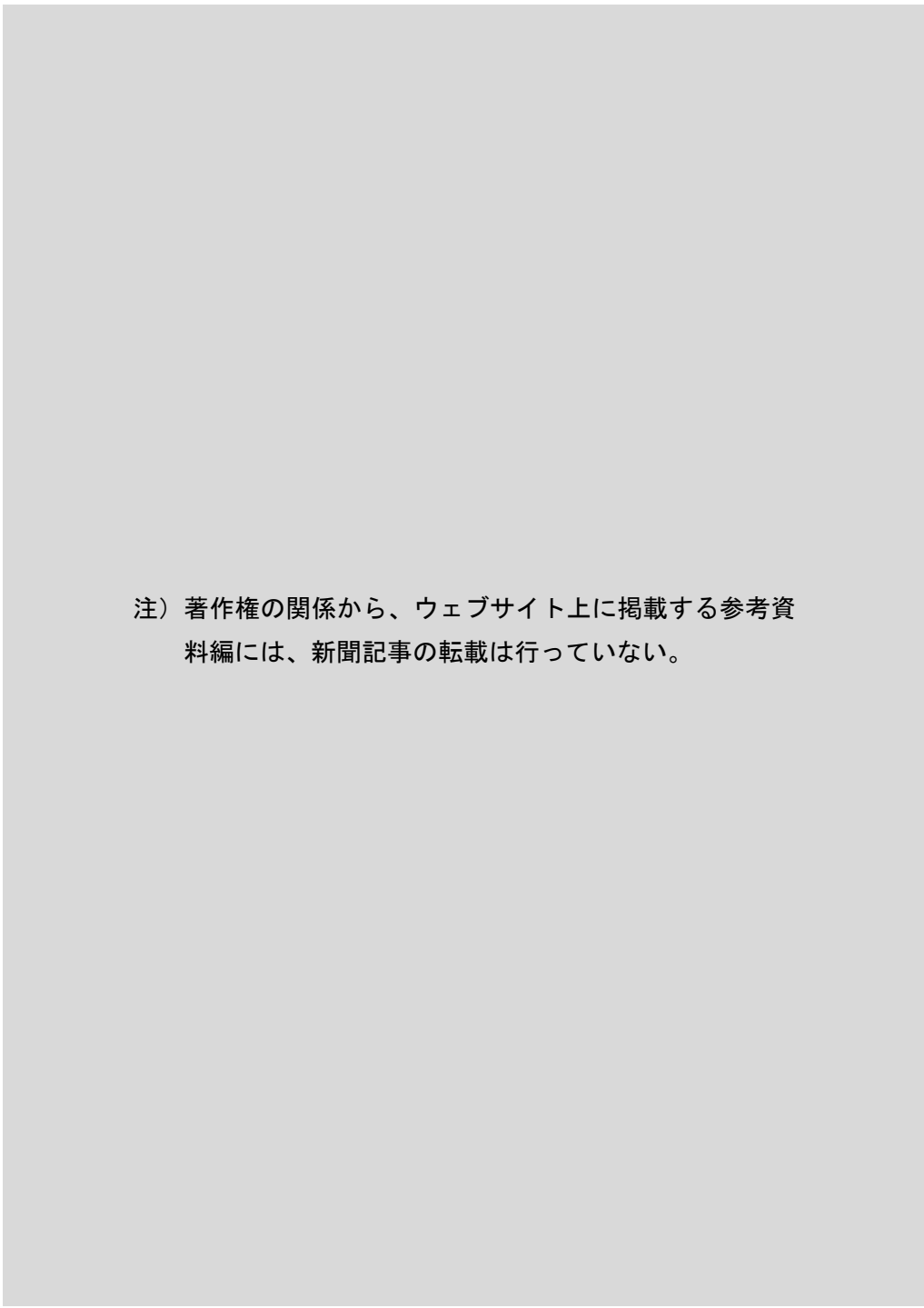
- ・岩手県と宮城県、福島県の路線バスは、県北自動車、岩手県交通、ミヤコーバス、福島交通、新常磐交通等の交通事業者により運行された。
- ・車両の被害が少ない県北自動車でも、発災1カ月後の運行状況は発災前の55%程度である。
- ・4月下旬には、車両の被害が最も多いミヤコーバスも復旧が進み、震災前のおよそ8割の路線で運行が再開した。

■沿岸部の路線バス運行状況

運行地域	主な被害状況	主な運行事業者	沿岸部を走行する路線数	運行状況			
				4月6日		4月28日	
				再開路線	運行割合	再開路線	運行割合
久慈地区 宮古地区	建物： <u>小本支所全壊</u> 車両： <u>車両2両大破</u> その他： <u>停留所多数など</u>	県北自動車 (岩手県北部)	31路線	17路線	54.8%	26路線	83.9%
釜石・大船渡・ 陸前高田地区	建物： <u>釜石営業所東前車庫全壊、大船渡営業所全壊、高田バスターミナル全壊等</u> 車両： <u>車両20両大破</u> その他： <u>停留所多数など</u>	岩手県交通 (岩手県南部)	46路線	19路線	41.3%	31路線	67.4%
気仙沼地区、 石巻地区、塩釜地区、名取地区	建物： <u>気仙沼営業所焼失、石巻営業所1階部分浸水</u> 車両： <u>車両27両大破</u> その他： <u>停留所多数など</u>	ミヤコーバス (宮城県全域)	32路線	12路線	38.7%	26路線	81.3%
相馬地区	—	福島交通	23路線	—	—	11路線	47.8%
いわき地区、 相双地区	建物： <u>本社・中央営業所、原町営業所一部損壊</u> 車両： <u>バス車両2両不明、28両置き去り</u> その他： <u>停留所多数など</u>	新常磐交通	160路線	—	—	124路線	77.5%

(国土交通省自動車交通局発表資料から整理)

事例 No	13	時期	復旧期	類型	路線バス
名称等	岩手県での路線バスの運行状況				
担い手	岩手県北自動車、岩手県交通				
概要	大船渡市は、4月4日から県立大船渡病院につながる6路線で無料バスを運行。通学や通院住民、買い物客の利便性を図るため始発は午前7時台、最終は午後5時台が中心。また、路線沿いで手をあげれば乗車できる「フリー区間も設けた。				



注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「あすから無料バス 大船渡市内に6路線」、東海新報 2011年4月3日)

事例 No	14	時期		復旧期		類型	路線バス
名称等	岩手県での路線バスの運行状況						
担い手	岩手県北自動車、岩手県交通						
概要	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県沿岸のバスは、77路線が運行していたが、未だ（4月28日現在）20路線が運休（宮古地区及び久慈地区5路線、釜石・大船渡・陸前高田地区15路線）。 三陸鉄道北リアス線、南リアス線、JR大船渡線の運休に対応して、岩手県北自動車や岩手県交通などが鉄道代替バスを運行。 						

岩手県沿岸地区の路線バスの状況

- 岩手県沿岸地区では路線バスが77路線運行していたが、東日本大震災の甚大な被害を受け、現在、57路線が運行再開（74%）、20路線が運休（26%）。
 - ◇ 宮古地区及び久慈地区（岩手県北自動車が運行）は、31路線中26路線が運行再開（84%）、5路線が運休（16%）。
 - ◇ 釜石・大船渡・陸前高田地区（岩手県交通が運行）は、46路線中31路線が運行再開（67%）、15路線が運休（33%）。
- 鉄道代替バスの運行
 - 三陸鉄道北リアス線、三陸鉄道南リアス線、JR大船渡線の運休に対応して、岩手県北自動車、岩手県交通がそれぞれ鉄道代替バスを運行。

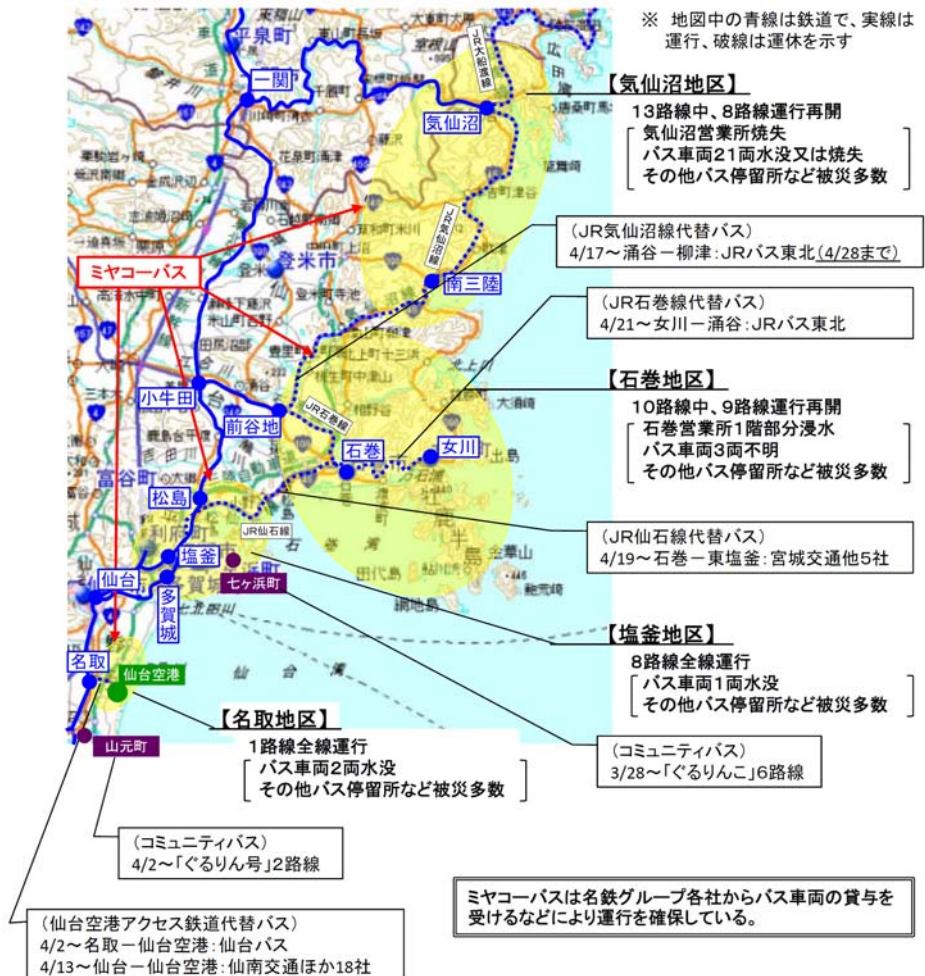


(国土交通省自動車局「東北地方太平洋沿岸部における路線バスの運行状況(4月28日)」)

事例 No	15	時期		復旧期		類型		路線バス	
名称等	宮城県での路線バスの運行状況								
担い手	ミヤコーバス								
概要	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県沿岸のバスは、32 路線が運行していたが、未だ（4 月 28 日現在）6 路線が運休。 JR 石巻線、仙石線、気仙沼線の運休に対応して、宮城交通、JR バス東北など 7 社が鉄道代替バス 3 路線を運行。 								

宮城県沿岸地区の路線バスの状況

- 宮城県沿岸地区では路線バスが32路線運行(ミヤコーバス)していたが、東日本大震災の甚大な被害を受け、現在、26路線が運行再開(81%)、6路線が運休(19%)。
このほか、七ヶ浜町及び山元町においてコミュニティバス8路線が運行再開。
- 鉄道代替バスの運行
JR石巻線、仙石線、気仙沼線の運休に対応して、宮城交通、JRバス東北など7社が鉄道代替バス3路線を運行。また、13日の仙台空港の民航機就航再開に対応して、運休している仙台空港アクセス鉄道の代替バスを仙南交通などが運行。



(国土交通省自動車局「東北地方太平洋沿岸部における路線バスの運行状況(4月28日)」)

事例 No	16	時期	復旧期	類型	路線バス
名称等	福島県での路線バスの運行状況				
担い手	福島交通、新常磐交通				
概要	<ul style="list-style-type: none"> 福島県沿岸のバスは、183 路線が運行していたが、未だ（4 月 28 日現在）48 路線が運休（相馬地区 12 路線、いわき地区及び相双地区 36 路線）。 JR 常磐線の運休に対応して、福島交通や馬陵タクシーなど 5 社が鉄道代替バス 6 路線を運行。 				

福島県沿岸地区の路線バスの状況

- 福島県沿岸地区では路線バスが183路線が運行していたが、東日本大震災の甚大な被害及び福島第一原発事故の避難指示等を受け、現在、135路線が運行再開（74%）、48路線が運休（26%）。
 - ◇ 相馬地区（福島交通が運行）は、23路線中11路線が運行再開（48%）、12路線が運休（52%）。
 - ◇ いわき地区及び相双地区（新常磐交通が運行）は、160路線中124路線が運行再開（77%）、36路線が運休（23%）、福島第一原発の警戒区域等である相双地区では運行再開のめどが立っていない。
- 鉄道代替バスの運行

JR常磐線の運休に対応して、福島交通、馬陵タクシーなど5社が鉄道代替バス6路線を運行。



※ 地図中の青線は鉄道で、実線は運行、破線は運休を示す

(国土交通省自動車局「東北地方太平洋沿岸部における路線バスの運行状況（4月28日）」)

事例 No	17	時期		復旧期		類型	路線バス
名称等	無料バス自治体に負担						
担い手	岩手県北自動車、岩手県交通など						
概要	被災直後は、震災で車を失った人の移手段として、自治体がバス会社に委託するなどして路線バスを運行した。被害が大きかった沿岸部等では無料での運行が多く、自治体の財政負担は大きい。釜石市では、4月の運行経費が約1,600万円、大船渡市でも1,000万円を負担しており、このまま負担を続けると年間1億円以上になると予想される。						

自動車交通局
平成23年4月6日
14時00分現在

岩手県沿岸地区の路線バスの状況

- 岩手県の一般路線バスは、全386路線のうち77路線が沿岸地区を運行していたが、東日本大震災の甚大な被害を受け、現在、36路線が運行再開(沿岸地区の47%)、41路線が運休(沿岸地区の53%)。
 - ◇ 県北地域(岩手県北自動車が運行)は、全68路線のうち31路線が宮古、久慈の沿岸地区で運行していたが、現在、17路線が運行再開(沿岸地区の55%)、14路線が運休(沿岸地区の45%)。
 - ◇ 県南地域(岩手県交通が運行)は、全318路線のうち46路線が釜石、大船渡、陸前高田の沿岸地区で運行していたが、現在、19路線が運行再開(沿岸地区の41%、うち15路線は自治体委託の無料運行)、27路線が運休(沿岸地区の59%)。
- 鉄道代替バスの運行
JR釜石線の運休に対応して、岩手県交通、JRバス東北が鉄道代替バス1路線を運行。また、新学期に向けて、三陸鉄道の運休に対応した鉄道代替バスの運行を検討中。



国土交通省自動車局「東北地方太平洋沿岸部における路線バスの運行状況(4月6日)」

事例 No	18	時期	復旧期	類型	乗合タクシー
名称等	仮施設と主要施設を結ぶ乗合型タクシーの運行				
担い手	塩竈市				
概要	仮設住宅の交通に関わる利便性向上のため、乗合型タクシーを運行。11月1日から運行開始し、料金は1乗車200円。仮設住宅と本塩釜駅、市立病院、塩釜駅を結ぶ路線を4便/日運行。				

仮設住宅と市内主要施設を結ぶ交通手段確保について

(定時定路線・定額料金・乗合型タクシー)

仮設住宅（伊保石ステーション）の交通手段を拡充し、利便性の向上を図るため、「定時定路線・定額料金・乗合型タクシー」を運行する。

1. 現状と課題

- ・現在、132世帯約320人が生活している仮設住宅（伊保石ステーション）は中心市街地から離れた高台にあり、徒歩での行き来が困難である。また、当該地域唯一の公共交通機関である「NEWしおナビ100円バス」は本数が少ないため、入居者からバス増便の要望がある。
- ・伊保石ステーション付近のバス停で乗客が増加したため、以降の停留所において、満員による「乗り残し」が月に数回発生するようになり、従来の利用者にも不便が生じている。

2. 事業概要

(1) 運行内容

運行形態：定時定路線・定額料金の乗合型タクシー
路線：以下のとおり

路線	乗車場所	停車場所	運行本数
往路（循環便）	伊保石ステーション	①本塩釜駅→②市立病院→ ③塩釜駅 ※①②③の順に停車する	4便
復路（直行便）	①本塩釜駅 ②市立病院 ③塩釜駅	伊保石ステーション ※①②③からそれぞれ直 行する	①②③からそれぞれ 4便

(2) 利用方法

- ① 仮設住宅居住者に対し、タクシー利用の会員登録を事前に行い、会員証を発行する。
- ② 利用者は運転手に会員証を提示し、乗車する。
- ③ タクシーは乗合いで運行する。
- ④ 運賃は一人1回乗車につき、200円（大人が同伴する未就学児は無料）。

3. NEWしおナビ100円バスの増便について

乗合型タクシーの運行とあわせ、伊保石ステーションをはじめとした仮設住宅や他の地域に約220世帯ある「みなし仮設住宅」居住者等の交通の利便性を向上させるため、NEWしおナビ100円バスを1便増便する。

4. スケジュール

平成23年 9月 9月補正予算計上
10月 関係機関協議、契約など
11月1日～ 運行開始（予定）

担当：企画係 佐藤
電話： 内線295

(塩竈市民総務部政策課作成資料)

2.3 地域内巡回バス

- ・沿岸部の被災地では、避難所と病院や役場、商業施設等がある市街地を結ぶことで幅広くニーズを満たすことのできる市内巡回バスが運行された。
- ・自治体から交通事業者へ委託されたものが多く、大概の路線は無料運行で運行された。

■主な事例

実施市町村	取組みの概要
宮城県 南三陸町	宮城県南三陸町では、避難所と町役場仮庁舎や公立志津川病院の仮設診療所などを結ぶ臨時無料シャトルバスの運行を5/9に開始。路線は、志津川歌津線や志津川避難所巡回線など11路線。町民バスや乗合タクシーを運行していた町内のタクシー事業者などに委託。
宮城県 仙台市	宮城県仙台市では避難者の区役所での各種支援等の手続きや通院を支援するため、宮城野区、若林区の各避難所と区役所や病院等を巡回する無料バス3路線を5/3から毎日運行。1日5～6往復。6/30で運行終了。
岩手県 大槌町	大槌町では、12月22日から仮設住宅を巡回するバスの運行を開始する。乗車定員が10人のワゴン車を利用して65歳以上または妊婦を乗車対象として運行。

(各市町のHP、広報から整理)

事例 No	19	時期	復旧期	類型	巡回バス
名称等	無料巡回バス				
担い手	宮城県南三陸町				
概要	宮城県南三陸町では、避難所と町役場仮庁舎や公立志津川病院の仮設診療所などを結ぶ臨時無料シャトルバスの運行を5/9に開始。路線は、志津川歌津線や志津川避難所巡回線など11路線。町民バスや乗合タクシーを運行していた町内のタクシー事業者などに委託。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「避難所と公共施設結ぶ 無料バス発進 震災並みの46便」、河北新報 2011年5月10日)

事例No	20	時期	復旧期	類型	巡回バス
名称等	無料巡回バス				
担い手	宮城県仙台市				
概要	宮城県仙台市では避難者の区役所での各種支援等の手続きや通院を支援するため、宮城野区、若林区の各避難所と区役所や病院等を巡回する無料バスを3路線を5/3から毎日運行。1日5～6往復。6/30で運行終了。				

■事業の内容

東日本大震災で被災し、避難している市民の皆様が、区役所での各種支援等の手続きや通院にご利用いただくよう、宮城野区、若林区の各避難所と区役所や病院等を巡回する無料バスを運行いたします。

実施期間：平成23年5月3日～6月30日【土日祝日も運行】

運行時間：8時20分～18時頃（路線によって運行する時間帯が異なります）

運賃：無料

運行車両：貸切バス（28人乗り程度の小型バスを予定）

※各経路ともバス1台での運行となりますので、満員の場合はご乗車にできない場合がありますので、予めご了承ください。

（仙台市HP 2011年5月1日）

■運行の詳細

避難所と区役所をつなぐ無料巡回バスを運行しています

○宮城野区および若林区の各避難所や、区役所、病院等を巡回する無料バスを運行します。

■期間＝6月3日（金）まで（土・日曜日、祝日も運行します）

■運行時間＝午前8時20分～午後6時頃（路線によって運行時間帯が異なります）

■運行経路

区	運行経路	本数等
宮城野区	岡田小学校⇔東北厚生年金病院⇔高砂市民センター⇔福室市民センター⇔田子市民センター⇔宮城野体育館⇔（※苦竹一丁目（東部市民センター）←）宮城野区役所	1日4往復 （約16km、片道45分）
若林区	若林体育館⇔七郷市民センター⇔サンピア仙台⇔蒲町小学校⇔N T T 東日本東北病院⇔若林区役所⇔荒町市民センター⇔仙台市立病院	1日5往復 （約10km、片道40分）
	J A 六郷／六郷中学校⇔六郷市民センター⇔上飯田一丁目⇔沖野三丁目⇔若林区役所⇔荒町市民センター⇔仙台市立病院	1日5往復 （約8km、片道30分）

※苦竹一丁目は、下り便（岡田小学校行き）のみ停車します。

■問い合わせ 公共交通推進課℡214-8352

（被災者された方のための生活支援情報第7号 2011年5月13日）

事例 No	21	時期	復旧期	類型	巡回バス
名称等	大槌町民バスの運行				
担い手	大安タクシー（ワゴン車）				
概要	大槌町では、12月22日から仮設住宅を巡回するバスの運行を開始する。乗車定員が10人のワゴン車を利用して65歳以上または妊婦を乗車対象として運行。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「仮設からの外出応援 中心部へ無料バス 高齢者と妊婦が対象 大槌町」、岩手日報 2011年12月23日)

大槌町民バス(仮設ルート)運行開始

12月22日(木)から仮設(浪板・吉里吉里地区、和野・前段地区)を巡回するバスの運行を開始します。

◆乗車対象者 65歳以上の方と妊婦

(乗車定員(10人)がありますので、対象者でも歩くことができる方は、従来のバス停からの乗車にご協力をお願いいたします。6:20発の便のみ、どなたでも乗車できます。)

◆料 金：平成24年3月31日までは無料で運行いたします。



◆ルートと時刻表

○大槌第2・3・4・5・9・10 仮設団地ルート：大安タクシーワゴン車(10人乗り)
(恵水講談仮設～和野仮設団地～前段仮設～巽岩仮設～大槌病院～中央公民館前)

乗車場所	時 刻				乗車場所	時 刻		
恵水講談話室前	6:20	8:10	10:40	13:10	中公入口付近	10:10	12:40	15:40
和野集会所前	6:22	8:12	10:42	13:12	県立大槌病院前	10:13	12:43	15:43
前段仮設住宅前	6:27	8:17	10:47	13:17	巽岩仮設住宅前	10:20	12:50	15:50
巽岩仮設住宅前	6:30	8:20	10:50	13:20	前段仮設住宅前	10:23	12:53	15:53
県立大槌病院前	6:37	8:27	10:57	13:27	和野集会所前	10:28	12:58	15:58
中公入口付近	6:40	8:30	11:00	13:30	恵水講談話室前	10:30	13:00	16:00

○吉里吉里第2・3・6・吉里吉里仮設団地ルート：大槌タクシーワゴン車(10人乗り)
(浪板仮設～吉里吉里4丁目仮設～吉里吉里中学校仮設～大槌病院～中央公民館前)

※浪板仮設住宅前は、第3仮設駐車場内からの乗降となります。

吉里吉里第6仮設については、道幅等の関係から乗車場所が吉祥寺となります。

乗車場所	時 刻				乗車場所	時 刻		
浪板仮設住宅前	6:20	8:10	10:40	13:10	中公入口付近	10:10	12:40	15:40
吉祥寺前	6:25	8:15	10:45	13:15	県立大槌病院前	10:13	12:43	15:43
吉里吉里中学校	6:30	8:20	10:50	13:20	吉里吉里中学校	10:50	12:50	15:50
県立大槌病院前	6:37	8:27	10:57	13:27	吉祥寺前	10:25	12:55	15:55
中公入口付近	6:40	8:30	11:00	13:30	浪板仮設住宅前	10:30	13:00	16:00

◆お知らせ

平成23年12月31日～1月2日まで仮設ルートは運休となります。

従来の町民バスも、12月31日～1月2日まで運休、12月30日・1月3日は休日時間での運行となります。

運行で使用している車両は、バス時刻以外は有料タクシーとなりますのでご注意ください。

(車両前面に表示がありますので確認の上ご乗車願います。)

(NPO 法人遠野まごころネット プレスリリース資料)

【参考：経費の一部を市が助成して住民バスを運行】

河北・桃生地区仮設住宅の住民バス運行について

《市長コメント》

被災者支援の一貫として、平成23年10月3日から河北・桃生の仮設住宅を回り、市内に直接乗り入れる住民バスを運行しています。

河北、桃生地区に約1,100棟の仮設住宅が建設され、約3,000人の被災を受けた市民が入居又は入居予定となっております。

この地域には、地区を循環する住民バス路線と河北には飯野川を始点、終点とする株式会社ミヤコーバスの路線がありますが、石巻赤十字病院や大規模な商業施設がある蛇田地区へは、乗り換えの手間や乗車時間などの負担が大きいことから、仮設入居者の利便を図るため、それぞれ地区の住民バス運行協議会が運行主体となり、経費の一部を市が助成することで、今回住民バスを運行させたものであります。

河北仮設住宅線は一日3便、河北の仮設住宅から石巻駅前、イオン石巻ショッピングセンター、石巻赤十字病院などを回ります。

桃生仮設住宅線は一日、上り・下り2便の計4便、桃生の仮設住宅から石巻赤十字病院、イオン石巻ショッピングセンターをバス停留所として運行しています。

今後は、先に運行の市内循環線を含め、これら仮設住宅線の利用状況や利用者ニーズの調査を実施し、今後の運行形態の改善等を図る予定です。

(石巻市作成資料)

2.4 通院バス

- ・被災地では、路線バスの運行が少ない3月下旬頃には、避難所と医療機関を結ぶ通院バスが運行された。
- ・通院バスは、医療機関などが行うもの（近隣市町村または都市部の医療施設と避難所などを結ぶ）と行政が行うもの（主に市内の医療機関と避難所等を結ぶ）が運行された。
- ・どちらの場合も料金は概ね無料で運行された。
- ・また、仮設住宅の建設が進むと仮設住宅と病院を結ぶバスも運行された。

■通院バスの運行状況

実施主体	取り組み概要
気仙沼市（ミヤコーバス協力）	気仙沼市では、避難所と市内の医療機関を結ぶ病院循環バスを3/22から運行した。市が燃料分を負担し、ミヤコーバスの協力により運賃は無料。気仙沼市では、市所有のマイクロバスなどを利用して路線を増やし、最多で5路線に及んだ市内病院巡回バスを4/15頃まで運行した。
避難所運営本部、ボランティア	宮城県仙台市岡田小の避難所では、7町内会で作る避難所運営本部が4月中旬から旅館のバスを借り、かかりつけ医巡回バスを計4回運行。その後、被災者の車を利用して、ボランティアでの運行。
七ヶ浜町	ジャパン交通に委託して運行していた七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」を、震災直後は、医療機関の臨時無料バスとして運行。3/22から七ヶ浜の避難所と塩竈方面の医療機関を1日2便マイクロバスで結んだ。
盛岡赤十字病院	盛岡赤十字病院は、陸前高田市と病院を結ぶ受診バスを3/21から5/6まで1日1往復運行した。盛岡赤十字病院への受診希望者や入院する家族への面会希望者の通院目的の他、処方箋の運搬等にも利用された。
イオン石巻ショッピングセンター	石巻赤十字病院の医師の提案により6/14から石巻赤十字病院と避難所を結ぶ通院バスをイオン石巻SCが運行した。ルートは、石巻市内の避難所を経由して、JR石巻駅前、石巻赤十字病院、終点の石巻イオンSCであり、1日5往復運行され、料金は無料。

（各市町や病院のHP、広報から整理）

事例 No	22	時期	応急期	類型	通院バス
名称等	市内病院巡回バスの運行				
担い手	市が燃料分を負担し、ミヤコーバスの協力で運行				
概要	気仙沼市内の病院施設を巡回するバスが市総合体育館と一本杉バス停の間で無料運行（平日のみ）。市が燃料分を負担し、ミヤコーバスの協力で当面は無料で運行。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「喜ばれています 高齢者や通院者に好評 市内巡回バス1日2往復運行」、三陸新報号外 2011年3月26日)

事例 No	23	時期	復旧期①	類型	通院バス
名称等	かかりつけ医巡回バス				
担い手	避難所運営本部、車両は旅館から借用、その後、被災者の車両とボランティアにより運行				
概要	宮城県仙台市岡田小の避難所では、7 町内会で作る避難所運営本部が 4 月中旬から旅館のバスを借り、かかりつけ医巡回バスを計 4 回運行。その後、旅館のバスが使えなくなり、被災者の車を利用して、ボランティアでの運行を開始。ガソリン代は運営本部が負担。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「巡回バス健康つなぐ 仙台岡田小避難所⇄かかりつけ医」、河北新報 2011 年 5 月 22 日)

事例 No	24	時期	応急期	類型	通院バス
名称等	医療機関行き臨時無料バスの運行				
担い手	七ヶ浜町（委託：ジャパン交通）				
概要	七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」を医療機関行き臨時バスとして無料で運行。				

○医療機関行き臨時無料バス運行のお知らせ

七ヶ浜町内避難所に避難されている皆様を対象に、3月22日(火)から1日2便塩釜方面の医療機関行き臨時無料バスを運行します。

- 行き先：笠神ハートクリニック、赤石病院、坂病院、塩釜市立病院
- 運行本数：各方面1日2便(午前1便・午後1便) 平日のみ運行します。
- 運行ルート・運行時間は下記のとおりです。

■七ヶ浜国際村方面（1号車）

【行き】	七ヶ浜国際村	→	君ヶ岡公園	→	生涯学習センター	→	七中入口	→	笠神ハートクリニック	→	赤石病院	→	坂病院	→	塩釜市立病院
午前	8:30発		8:35発		8:40発		8:45発		9:15着		9:20着		9:25着		9:30着
午後	12:30発		12:35発		12:40発		12:45発		13:15着		13:20着		13:25着		13:30着
【帰り】	塩釜市立病院	→	坂病院	→	赤石病院	→	笠神ハートクリニック	→	七中入口	→	生涯学習センター	→	君ヶ岡公園	→	七ヶ浜国際村
午前	11:30発		11:40発		11:45発		11:50発		12:15着		12:20着		12:25着		12:30着
午後	15:30発		15:40発		15:45発		15:50発		16:15着		16:20着		16:25着		16:30着

■松ヶ浜小学校方面（2号車）

【行き】	松ヶ浜小学校	→	笠神ハートクリニック	→	赤石病院	→	坂病院	→	塩釜市立病院
午前	8:30発		8:45着		8:50着		8:55着		9:00着
午後	12:30発		12:45着		12:50着		12:55着		13:00着
【帰り】	塩釜市立病院	→	坂病院	→	赤石病院	→	笠神ハートクリニック	→	松ヶ浜小学校
午前	11:30発		11:40発		11:45発		11:50発		12:20着
午後	15:30発		15:40発		15:45発		15:50発		16:20着

※道路状況等により時刻に多少のずれが生じる場合がありますのでご了承ください。
 ※バス1台の定員が26名となりますので、急を要する方を最優先とさせていただきます。
 なお、午前の便が満車の場合は午後の便をご利用ください。



(七ヶ浜HP)

事例 No	25	時期	応急期	類型	通院バス
名称等	受診バスの運行				
担い手	盛岡赤十字病院				
概要	盛岡赤十字病院は、陸前高田市へ病院受診バスを3/21～5/6まで1日1往復運行した。定員は49人で、受診希望者や家族への面会希望者の他、処方箋の運搬にも利用。				

4 現在の保健医療体制(H23.3.21 現在)

別紙1～3のとおり。

◆医療救護チーム

日本赤十字社各支部が市立第一中学校を拠点に、救護所と巡回診療を実施している。

原則、秋田県支部の2チームが巡回診療、福井県支部、岐阜県支部のいずれかと、岩手県支部が救護所担当(2診)で、24時間診療体制をとっている。

また、これとは別に、毎日9:00出発の盛岡赤十字病院行き往復バスが出ており(定員49名)、病院受診や家族への面会を希望する者を対象に行っている。希望する者は8:45までに職員室前の受付名簿に記入・集合すること。帰着は17:00の予定となっている。

(派遣医療救護チーム・保健師チームのみなさまへ(陸前高田市健康推進課) 2011年3月21日)

陸前高田市から盛岡赤十字病院受診バス利用者数

受診バス	計	3月21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	4月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
利用者数	302	18	7	13	9	14	13	14	14	13	6	9	15	3	8	9	10	6	11	8	3	1	12	9	2	7	11

16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	5月1日	2日	3日	4日	5日	6日
運休	運休	11	3	5	8	4	運休	運休	6	8	8	6	運休	運休	運休	8	運休	運休	運休	8

5月6日をもって運行を終了しました。

(盛岡赤十字病院作成資料より抜粋)

2.5 買い物支援バス

- ・避難所や仮設住宅からの買い物支援を目的として、民間の大型小売店等により施設までのシャトルバスが運行された。
- ・また、買い物支援を中心に、病院や行政施設等、利用者のニーズに合わせてルートを設定したバスも運行された。

■買い物支援バス

実施主体	取り組み概要
ウジエスーパー	南三陸町の店舗が流失し、再開のめどが立っていないため、ウジエスーパーでは町内の避難所と町外の店舗を往復する無料送迎バスを週に2日、1日2回ずつ運行。
いわて生協	いわて生協が被災地の買い物支援のため、山田町の避難所からマリンコープ DORA を結ぶ買い物支援バスを無料で運行。4/14 から 55 人乗りの大型バスで運行され、5 月以降も継続された。
山田町社会福祉協議会	山田町社会福祉協議会では、仮設住宅と町内の中心を結ぶ買い物バス「まぢづけえ号」を無料で運行。利用者登録した人のニーズも踏まえ、買い物支援を中心としたルートを設定した。

(新聞記事などを基に整理)

事例 No	26	時期	復旧期	類型	買い物支援バス
名称等	避難所と店舗往復無料送迎バス				
担い手	ウジエスーパー				
概要	南三陸町の店舗が流失し、再開のめどが立っていないため、ウジエスーパーでは町内の避難所と町外の店舗を往復する無料送迎バスを運行。送迎バスは7路線、登米市の中田店か石巻市の飯野川店と避難所を往復し、いずれの路線も週に2日、1日2回ずつ運行。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「避難所と店舗往復 無料送迎バス南三陸で運行 ウジエスーパー」、河北新報 2011年5月17日)

事例No	27	時期	復旧期	類型	買い物支援バス
名称等	お買いもの支援バス運行				
担い手	いわて生協				
概要	いわて生協が被災地の買い物支援のため、山田町の避難所からマリンコープDORAを結ぶ買い物支援バスを無料で運行。4/14から55人乗りの大型バスで運行され、5月以降も継続された。				

「山田高校～山田南小学校経由」マリンコープDORA行き臨時無料お買い物バス運行します

被災地の方へのお買い物支援のために、4月14日（木）より「山田高校～山田南小学校経由」マリンコープDORA行き臨時無料お買い物バスを運行します。

山田高校、山田南小学校、さくら幼稚園、武徳殿に避難しているご親戚、お知り合いの方にお知らせください。

(いわて生活協同組合公表資料 2011年4月13日)

山田高校・山田南小・さくら幼稚園・武徳殿に避難されている皆様へ
このたびの東日本大震災により、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

**いわて生協 マリンコープDORA 行きの
無料 お買い物バスを臨時運行。**

**5月26日(木)まで継続運行
5月5日・12日・19日・26日**

**午後便は、まだまだ座席に余裕
あり、ゆったりご乗車できます。**

※ お近くの方へも、是非お知らせをお願いします。

【臨時 お買い物バス時刻表】

	山田 高校発	山田 南小発	マリンコープ DORA 着	買物 時間	マリンコープ DORA 発	山田 南小着	山田 高校着
午前便 (55人 乗り)	9:00	9:10	10:00	70 分	11:10	12:00	12:10
午後便 (55人 乗り)	13:00	13:10	14:00	90 分	15:30	16:20	16:30

運行：岩手県北バス 大型バス(55人乗り) 1台
※ 当日、先着順にご乗車していただきます。
※ 山田南小・さくら幼稚園・武徳殿の方は、小学校下の道路にて乗車になります。

(いわて生活協同組合公表資料 2011年4月30日)

事例 No	28	時期	復旧期	類型	買い物支援バス
名称等	仮設住宅と町を結ぶバスの運行				
担い手	山田町社会福祉協議会				
概要	山田町社会福祉協議会では、仮設住宅と町内の中心を結び、主に買い物に利用する「まぢづけえ号」を無料で運行。午前と午後の1日2回の運行で、午後はスーパーを中心としたルートで運行。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(仮設の足笑顔運ぶ 買い物バス好評 山田町社福協が試験運行、岩手日報 2011年11月11日)

2.6 入浴送迎バス

- ・震災後には、民間や行政などにより入浴施設の開放が行われ、避難所等から入浴施設までは、バスによる送迎が実施された。
- ・自衛隊は被害の大きい地域で仮設の入浴施設を設置した。周辺の各避難所に入浴時間が割り当てられ、マイクロバスによる送迎も行われた。

■入浴送迎バスの概要

実施主体	取り組み概要
民間事業者	被災地周辺の民間入浴施設では、避難生活をしているお年寄りを中心に入浴サービスを実施。多くの場合、入浴施設が保有するバスによる送迎が行われた。
自衛隊	自衛隊は、震災 10 日後頃から避難所からの送迎バス付きの入浴サービスを被災地で順次開始。入浴は時刻が割り振られており、時間に合わせて送迎バスが避難所を巡回する。

(各 HP や新聞などから整理)

事例 No	29	時期	応急期	類型	入浴支援バス
名称等	入浴支援バスの運行				
担い手	げいび観光センター、三島温泉				
概要	気仙沼市の松岩公民館で避難生活をしているお年寄りを中心に入浴サービスを実施。協力した入浴施設により避難所と施設の送迎バスが運行された。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(『お風呂に入りたい』相次ぐ入浴支援 でも恩恵はまだ一部」、三陸新報 2011年3月25日)

事例 No	30	時期	応急期	類型	入浴支援バス
名称等	自衛隊が行う入浴サービス（マイクロバスで送迎）				
担い手	自衛隊				
概要	自衛隊は、被災地で行っている入浴支援について送迎バスを運行。				

6月16日(木)より

**自衛隊入浴支援
「送迎バス」
ダイヤ改正について**

6月16日（木）より、別紙運行表のとおり変更となりますので、お間違えのないようお願いいたします。

変更内容：利用者が極端に少ない便の廃止・統合

これまで 避難所から自衛隊提供風呂（寺野）への送迎バスを運行してきましたが、利用者の減少に伴い 運行の効率化を図る為、極端に利用者の少ない送迎便・停留所を廃止・統合するものです。

大槌町災害対策本部（生涯学習課） ☎0193-42-2300

各避難所停留場所一覧

避難所名	停車場	避難所名	停車場
小籠多目的集会所	集会所前	千田精密	県道 (千田精密前)
狭打直集会所	集会所前	大槌高校	校門前
山岸生活改善センター	センター前 (消火栓付近)	旧吉里吉里中体育館	廃止
大ヶ口多目的集会所	集会所前	大徳院	煙山商店付近 <small>※安達小・大槌稲荷に統合</small>
桜木町 東・西大通り	廃止	ワークフォローおおつち	道路入口の看板付近
役場 金沢支所	支所前	赤浜小学校	赤浜タクシー付近
金沢小学校	県道 (大槌院 下付近)	安渡小学校 大槌稲荷神社	煙山商店付近
金沢生活改善センター	センター前	中央公民館	大槌城史跡石碑付近
かみよ稲穂館	稲穂館前		

※注意事項とお願い

- ①道路状況により、バスの到着時刻が遅れる場合がありますので、ご了承願います。
- ②お風呂の運用時間は、正午から21:00までとなっております。特に18:00以降は、大変込み合いますので、通勤・通学等をされていない方や、屋間に予定のない方は、できるだけ日中に入浴していただきますようお願いいたします。
- ③自宅に入浴設備がある方のご利用は、極力ご遠慮頂きますようお願いいたします。
- ④1日あたり800人前後の利用を想定していますので、800人を超える場合は、入場をお断りする場合があります。
- ⑤使用済みタオルや下着を捨てないで下さい。
- ⑥入浴場では、自衛隊員の皆さんの指示に従い、マナーを守ってご利用下さい。

(大槌町災害対策本部作成資料)

入浴

避難所の皆さんが多賀城駐屯地の浴場（100人収容）で入浴できます。各施設を自衛隊のバスが回り送迎いたします。日程など詳細については、各避難所でお知らせいたします。
*お問い合わせは、各避難所および災害対策本部まで
☎0193-42-2300

(広報しちがはま 5月号 2011年5月1日)

2.7 小・中学校スクールバス

- ・被災地では、沿岸部を中心に多くの小・中学校の校舎が浸水等により使用不能に陥った。
- ・避難所からの通学や通学する学校の校舎変更による遠距離通学者の増加のため、学校の再開に合わせてスクールバスが運行された。
- ・主に各市町村の教育委員会が主体となり無料で運行された。

■岩手県、宮城県の小・中学校校舎の被災状況

実施主体	概要
気仙沼市教育委員会	気仙沼市教育委員会が交通事業者に委託して、26人乗りのマイクロバスと55人乗りの大型バスを使用し、3コースを無料で運行。
市町村が民間業者などの協力を得て運行	陸前高田市は、市内各地と旧矢作中を結ぶ3路線を県交通に委託して運行。大槌町は、吉里小など4カ所で授業を行うため、16路線のバスを運行予定。
石巻市教育委員会	石巻市では市内の小中学校3校と幼稚園が他の学校の教室を間借りして再開されたため、市が送迎バスを運行。

(新聞や各市町村の広報から整理)

【参考：公立学校の建物被災状況】

- ・公立学校(幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校)の建物被害状況

公立学校の被害学校数 (幼・小・中・高・中等・特別)	被害状況Ⅰ	被害状況Ⅱ	被害状況Ⅲ
6, 211	205	785	4, 980

※文部科学省への報告を基に、建物の被害状況について分類。

公立学校の被害学校数は、敷地の被害のみの学校数も含むため、各建物の被害状況の合計とは一致しない
被害状況Ⅰ～Ⅲについては、建物の被害の程度を以下のとおり分類。

被害状況Ⅰ：建物の被害が大きく、建替え又は大規模な復旧工事が必要と思われるもの

被害状況Ⅱ：建物の被害を受けており、復旧工事が必要と思われるもの

被害状況Ⅲ：建物の被害を受けており、復旧工事が必要だが、小規模な被害と思われるもの

(文部科学省「東日本大震災による災害情報について」2011年5月13日)

事例 No	31	時期	復旧期	類型	小・中スクールバス
名称等	スクールバスの運行				
担い手	気仙沼市教育委員会が市内の業者に委託				
概要	運行するのは階上線、鹿折線、津谷川線の3コースで、津谷川線は26人乗りのマイクロバス、その他は55人乗りの大型バスでいずれも無料。各線ともなるべく児童・生徒がいる親戚などの家や避難所の近くを經由するように停留所を設定。下校は、小学校の低学年と高学年・中学生用の2便運行。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「児童・生徒の足確保 気仙沼市教委 スクールバスを運行」、三陸新報 2011年4月20日)

事例 No	32	時期	復旧期	類型	小・中スクールバス
名称等	スクールバスの運行				
担い手	市町村が民間業者などの協力を得て運行				
概要	陸前高田市は、市内各地と旧矢作中を結ぶ3路線を県交通に委託。大槌町は、吉里小など4カ所で授業を行うが、町中心部から離れているため16路線のバスを運行予定。石巻市でも旅行会社などに手配して大型バスやワゴン車など計20台を確保し、12路線を設定。それぞれ、転居などによる路線増設の必要性を視野。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「地域が守る通学の足 県内被災地スクールバス 民間が協力し運行 経路作りに自治体苦心」、岩手日報 2011年4月26日)

事例 No	33	時期	復旧期	類型	小・中学校バス
名称等	送迎バス				
担い手	宮城県石巻市教育委員会				
概要	石巻市では市内の小中学校3校と幼稚園が他の学校の教室を間借りして再開されたため、市が送迎バスを運行。				
<p>注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。</p>					
<p>(「校舎を間借り授業再開 石巻の小中3校と幼稚園 市が送迎バス用意」、河北新報 2011年5月10日)</p>					

2.8 高校スクールバス

- ・被災地では、被災した校舎の間借や鉄道の運休などにより通学が不便になった生徒のために、県の教育委員会が中心となり、高校生向けの無料スクールバスを運行した。
- ・また、鉄道の運休区間を通学する生徒のために、通学用の臨時バスを鉄道会社やバス事業者の協力で運行した。

■ 高校スクールバスの概要

実施主体	概要
宮城県教育委員会	被災した高田高校は、隣接市にある大船渡東高（旧大船渡農高）の校舎を間借りする。陸前高田～大船渡市への鉄道が運休しているため、高田高校、大船渡東高校、近隣の大船渡高校に通う陸前高田市内の高校生を対象に県教育委員会がスクールバスを運行した。
はらまち旅行	常磐線が運行しているため、相馬高校、相馬東高校、相馬養護学校のみが利用可能な臨時バスをはらまち旅行が運行。料金は有料で、鉄道を利用した場合と同額程度。
三陸鉄道（岩手県北バス協力）	三陸鉄道北リアス線の運休区間（小本～陸中野田）で、岩手県北バスが久慈地区に通う生徒のために臨時バスを運行。通学のみを目的として、4/7から朝と夕方のみ運行する。

（各市町のHP、広報から整理）

事例 No	34	時期	復旧期	類型	高校スクールバス
名称等	無料通学バスを運行				
担い手	県教育委員会が県交通に委託				
概要	大船渡高と大船渡東高、高田高に在籍する陸前高田市内の生徒のために通学バス（最大で定員 60 人）の運行を開始。公共交通機関が整備されるまで無料で運行し、各高の行事などに合わせた柔軟なダイヤで対応する。ルートは、矢作町-竹駒駅前-各高の高田ルートと小友町-各高の広田ルートの 2 種類。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「高校生に無料通学バス運行 陸前高田一大船渡」、岩手日報 2011 年 4 月 21 日)

事例 No	35	時期	復旧期	類型	高校スクールバス
名称等	鉄道の運休による代替スクールバス				
担い手	はらまち旅行				
概要	JR常磐線が運休のため、原ノ町駅～相馬駅間を利用する生徒のためにスクールバスを運行。生徒のみが利用可能で料金は有料。				

【相馬高校、相馬東高校、新地高校、相馬養護学校の生徒への支援】

JR常磐線が運休しているため、原ノ町駅から相馬駅間でスクールバスを運行いたします。ただし、運賃のJRを利用した場合に相当する料金については、自己負担となります。

(檜葉町HP)

JR常磐線 原ノ町駅～相馬駅間の通学バス運行について

はらまち旅行では、東日本大震災による公共機関不通のため、**相馬高校・相馬東高校・相馬養護学校の生徒の通学用臨時バス**の運行を以下の通り運行することとなりました。

各路線とも、道路状況においてやむを得ず、運行経路を変更する必要があるほか、大幅な遅延が発生することも想定されます。

運行の詳細な予定は以下の通りです。

■この臨時バスは相馬高校および相馬東高校・相馬養護学校の生徒のみが利用可能です。

1、運行期間

平成23年4月18日(月)から、当分の間毎日運行

2、停留所

- ・JR常磐線 原ノ町駅
- ・JR常磐線 鹿島駅
- ・道の駅 そうま
- ・JR常磐線 相馬駅

以上の4ヶ所を国道6号線を経由して運行いたします。

3、運賃(片道・現金收受)

原ノ町駅⇄相馬駅	500円
鹿島駅⇄相馬駅	350円
道の駅そうま⇄相馬駅	200円

(有限会社はらまち旅行HP)

事例 No	36	時期	復旧期	類型	高校スクールバス
名称等	高校に通う生徒の足の確保のため臨時バスの運行				
担い手	県北バス				
概要	北リアス線（三陸鉄道）の運休区間である小本-陸前野田間で臨時バスの運転を開始。久慈地区の高校に通う生徒の足の確保のため、平日の朝・夕のみ運行。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

(「小本-陸中野田通学用臨時バス 三鉄運休 平日朝夕のみ」、岩手日報 2011年4月8日)

2.9 移送サービス

- ・被災後、NPO 法人が高齢者等の送迎支援のため、移送サービスを行った。

事例 No	37	時期	復旧期	類型	移動サービス
名称等	福祉輸送				
担い手	移動支援ボランティアRera				
概要	宮城県石巻市において、NPO法人ホップ障害者地域生活支援センターの福祉団体で構成される災害移動支援ボランティアReraが、被災した障がい者や高齢者を病院などへの送迎支援に取り組んだ。				
<p>注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。</p>					
<p>(「送迎依頼、細かに対応 災害移動支援ボランティアRera(レラ)リーダー 番場隆夫さん」、河北新報 2011年5月28日)</p>					

2.10 カーシェアリング

- ・被災地の避難所や仮設住宅で、車を失った被災者等が車を共有するカーシェアリングが取り組まれた。
- ・車両や保険代等の運用にかかる費用は民間団体等の支援を受け、運用方法等については利用者間で話し合いながら決め、利用されている。

■被災地におけるカーシェアリングの実施状況

実施主体	取り組み概要	実施箇所数
一般社団法人 ドコデモエコ カー（神奈川県 横浜市）	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所となっている福島県郡山市ビックパレットふくしま（6/26～）、宮城県南三陸町南三陸ホテル観洋（7/10～）に、中古自動車を無償で提供し、被災者を対象としたカーシェアリングを実施。 ・保険や燃料の代金は当面、社団法人ドコデモエコカーが負担。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2か所 （宮城県南三陸町、福島県郡山市）
一般社団法人 日本カーシェア リング協会 （兵庫県神戸市）	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県石巻市の仮設住宅で、中古自動車を無償で提供し、被災者を対象としたカーシェアリングを実施。 ・企業等から車両の提供を受け、寄付により車検代と保険代を賄っている。燃料の代金は利用者のカンパにより、賄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3か所 （宮城県石巻市） ※試験運行含む

（新聞記事や各HP等から整理）

事例 No	38	時期	応急期	類型	カーシェアリング
名称等	カーシェアリング				
担い手	社団法人ドコデモ・エコカー				
概要	社団法人ドコデモ・エコカーは、ドイツの企業などからの寄付で中古車を購入して被災地にカーシェアリング用の車両を設置した。今後は、被災地の状況を考慮してトラックなどのカーシェアリングも検討している。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、
新聞記事の転載は行っていない。

(「被災地こそカーシェア 横浜のドイツ人男性 12 台寄贈」、東京新聞 2011 年 10 月 27 日)

事例 No	39	時期	応急期	類型	カーシェアリング
名称等	カーシェアリング				
担い手	日本カーシェアリング協会				
概要	カーシェアリング協会では、多数の車両が失われた被災地で車両を共有するカーシェアリングの試みを開始した。車の共有による地域の足の確保とコミュニティづくりも考慮して取り組まれている。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、
新聞記事の転載は行っていない。

(「車共同使用で広がる縁 宮城・石巻市」、読売新聞 2011年8月11日)

3 個別交通

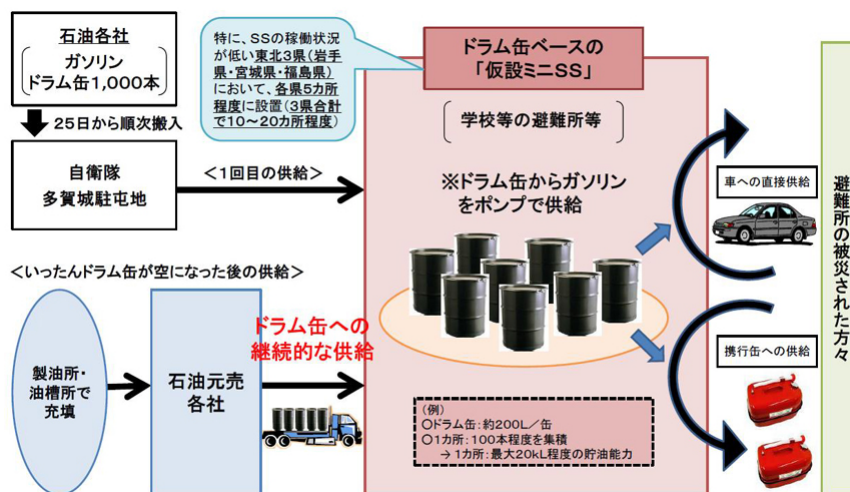
3.1 燃料の配布

- ・被災地では、被災者へのガソリンや自転車の提供といった個別交通に対する様々な支援も行われた。

事例No	40	時期	復旧期	類型	燃料の配布
名称等	仮設ミニSSにおけるガソリンの提供				
担い手	観光協会				
概要	経済産業省は、岩手県の陸前高田市、釜石市、大槌町において、仮設ミニSSを設置し、被災者にガソリンを提供した。陸前高田市では、地区のコミュニティ推進協議会を通じて、給油券を配布し、被災者にガソリンを提供した。				

- ・経済産業省は、岩手県の陸前高田市、釜石市、大槌町において、仮設ミニSSを設置し、被災者にガソリンを提供した。
- ・陸前高田市では、地区のコミュニティ推進協議会を通じて、給油券を配布し、被災者にガソリンを提供した。

<仮設ミニSSの概要>



(※仮設ミニSS: SS (サービスステーション) が十分に稼働しておらず、特にガソリン供給が困難となっている地区において、学校等の避難所等でドラム缶での給油を行った。3月27日から4月21日までの26日間で、計9市町村に設置され、累計で約9,200台に対して給油を行った。以下3市町を除いては、公用車等を中心に給油を行っている)

<仮設ミニSSにおける被災者車両等への燃料の提供状況>

市町名	期間	給油台数
陸前高田市	3/27~3/29	1,835台
	4/9~4/11	1,882台
釜石市	3/30~4/1	1,513台
大槌町	4/1~4/7	2,549台

(資料: 資源エネルギー庁資料)

3.2 自転車の活用

- ・被災地では、燃料不足や車両の流出等の影響により、自家用車や公共交通から自転車へ移動手段の転換がみられた。
- ・また、被災地には全国の自治体や企業から多くの自転車が寄付され、希望する個人への配布や各避難所での共同利用が行われた。

■自転車の活用状況

実施主体	取組み概要
宮古観光協会	宮古観光協会では、支援物資の自転車を無料で貸し出す「オレンジチャリ」事業を実施。同市を訪れた観光客や復興業者、市内の買い物客らに無料で貸し出し。
岩手県山田町	全国から提供された自転車を無料の貸自転車として町役場に設置。
岩手県大槌町	通学・通勤に自転車が必要な被災者に対し、全国から提供された自転車を配布。
宮城県七ヶ浜町	通学に使用していた自転車が津波で流失して通学が困難で希望する人に自転車を配布。

(新聞記事や各HPから整理)

事例 No	41	時期	復旧期	類型	自転車の共同利用
名称等	自転車の無料貸し出し				
担い手	観光協会				
概要	支援物資の自転車を無料で貸し出す「オレンジチャリ」事業を実施。観光協会では、寄贈された自転車をオレンジ色に塗装し、同市を訪れた観光客や復興業者、市内の買い物客らに無料で貸し出し。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、
新聞記事の転載は行っていない。

(「宮古を巡る『足』に 観光協会・自転車無料貸し出し」、岩手日報 2011年6月20日)

事例 No	42	時期	復旧期	類型	自転車の活用
名称等	無料貸自転車				
担い手	岩手県山田町（自転車は全国から提供）				
概要	岩手県山田町では、全国から提供された自転車を無料の貸自転車として町役場に設置。利用者は町民ホールの職員に申し出る。利用は午前8時～午後5時、当日中に返却。				

無料貸自転車

希望する方は町民ホールの職員に申し出てください。午前8時～午後5時

なお、必ず当日中に返してください。

(NHK 盛岡放送局山田町生活情報)

事例No	43	時期	復旧期	類型	自転車の活用
名称等	自転車の配布				
担い手	大槌町				
概要	被災者のうち、通学・通勤に自転車が必要な人へ全国から提供された自転車を貸与。				
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>6. 自転車の配布について</p> <p>大槌町で生活をしている被災を受けた方で通学・通勤に自転車が必要な方へ下記のとおり自転車を配布します。 希望者は、学生または会社員であることが分かるものを持参のうえ、寺野野球場物資窓口においでください。 自転車は大槌町からの貸与となります。原則その場でお渡しできますが、在庫がない場合は予約となります。 配達を希望する方は相談してください。(町内のみ) また、仮設住宅に移ってから必要になる方については、入居後に申請してください。</p> <p>1 対象 大槌町で生活をしている被災者で通学・通勤に自転車が必要な方 (他市町村で生活または一時避難している方は対象になりません)</p> <p>2 配布内容 自転車(全国から支援いただいた中古自転車)</p> <p>3 持参するもの (1) 学生 学生証(但し大槌高校は配布済みのため除く) (2) 会社員 保険証または雇用のわかるもの</p> <p>4 受付期間 平成23年6月11日(土)～6月30日(木) (仮設住宅入居者は、上記期間後も受け付けます。)</p> <p>5 受付場所・時間 寺野野球場物資窓口 午前9時～11時30分、午後1時30分～4時</p> <p>6 その他 配布後の管理・修理は、個人の責務でお願いします。 自転車は現在250台程度あり、今後も入荷予定です。 今回通学・通勤に必要な方に配布した後、在庫状況を見ながら その他の希望者についても検討していきます。</p> <p><問い合わせ先> 大槌町災害対策本部 物資班 090-3126-9968</p> <p style="text-align: right;">(大槌町災害対策本部情報第17号 2011年6月7日)</p> </div>					

事例No	44	時期	復旧期	類型	自転車の活用
名称等	通学用自転車の給与				
担い手	七ヶ浜町				
概要	通学に使用していた自転車が津波で流失して通学が困難で希望する人に自転車を給与。				
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">教育</p> <p style="text-align: center;">■ 通学用自転車の給与について</p> <p>七ヶ浜町在住(平成23年3月11日以前在住含む)で学校教育法に規定する中学校、高等学校、高等専門学校、大学に在学している者で、通学に使用していた自転車が津波で流失し自転車での通学が困難になられた方で自転車の給与を希望する方は、教育総務課までお問い合わせください。</p> <p>● 問い合わせ期間 6月17日(金)まで</p> <p>*お問い合わせは、教育総務課まで ☎ 7440</p> <p style="text-align: right;">(広報しちがはま 2011年6月号)</p> </div>					

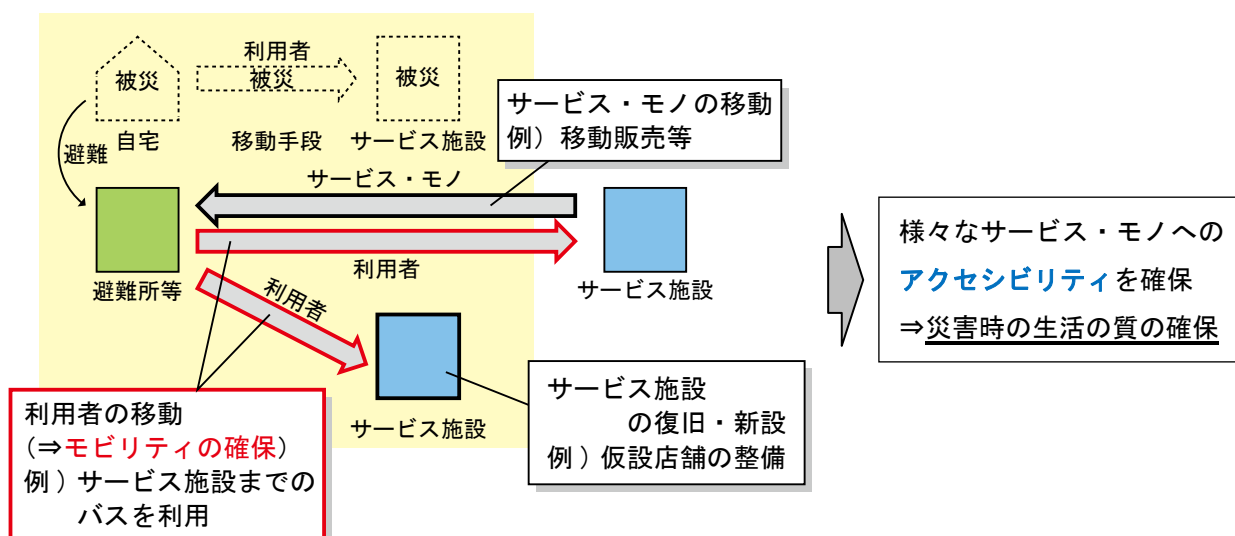
4 サービスの移動、施設の設置等

災害時に生活の質を確保するためには、様々なサービス・モノへのアクセシビリティを確保することが求められる。ここでは、以下の位置づけによりモビリティ以外のアクセシビリティ（サービス・モノの移動、サービス施設の復旧・新設）に関わる事例を収集した。

■災害時におけるモビリティの位置づけ

- ・アクセシビリティを確保する方法として、サービス施設に人が移動する（モビリティの確保）だけでなく、サービス・モノの移動やサービス施設の整備などの方法が考えられる。
- ・災害時にはモビリティの確保や他の手段（サービス・モノの移動、サービス施設の復旧・新設）の中から適切な手段を選択し、組み合わせることで、サービス・モノへのアクセシビリティを確保することが望ましいと考えられる。

○災害時の生活サービスの提供方法



○災害時の生活サービスの提供方法

提供方法 サービス	①利用者の移動 (モビリティの確保)	②サービス・モノ の移動	③サービス施設の 復旧・新設	④その他
医療	○医療施設までの移動手段の提供	○訪問診療 ○移動診療車によるサービス提供	○臨時診療所の整備	—
入浴	○入浴施設までの移動手段の提供	○移動入浴車によるサービス提供	○臨時入浴施設の整備	—
買物	○商業施設までの移動手段の提供	○移動販売車によるサービス提供	○仮設店舗の整備	○日用品の配布 ○買物代行サービス
その他	○役所等までの移動手段の提供	○巡回営業によるサービス提供(郵便局)	—	—

■被災地でのサービス・モノの移動、サービス施設の復旧・新設状況

- ・被災地で取り組まれたサービス・モノの移動、サービス施設の復旧・新設は主に「入浴」、「医療」、「買い物」の分野で取り組まれた。
- ・「医療」や「入浴」では、サービスの移動やサービス施設の設置が行われたが、「買い物」については、この他に代行サービスも行われた。

○被災地でのサービス・モノの移動、サービス施設の復旧・新設状況

分類	活動	主体	内容
入浴	入浴車の運行	大槌町	大槌町は、入浴車の運行による訪問入浴や送迎車による通所入浴を実施。
	入浴施設の設置	自衛隊	自衛隊が被災地各地で、入浴施設を設置。
医療	移動診療車の派遣	日本歯科医師会	被災地の避難所等で診療するため、各県歯科医師会から移動診療車が提供・派遣。
	臨時救護所の開設	聖マリア病院（福岡県久留米市）	福岡県久留米市聖マリア病院は陸前高田市の公民館に臨時の救護所を開設。
買い物	移動スーパー	スーパーマイヤ	スーパーマイヤは被災地でトラックによる移動販売を実施。冷蔵庫付き車両等で避難所付近を中心に巡回。
	仮設商店街の開設	釜石市内の商店街	釜石市天神町では、中小企業基盤整備機構の支援制度を活用した仮設の商店街をオープン。
	買い物代行	NPO法人「参画プランニング・いわて」	NPO法人が、東日本大震災被災者を雇用して3自治体で、買い物代行業（日用品、食料品、雑貨など）を実施。

(新聞記事や各HPから整理)

事例 No	45	時期	復旧期	類型	移動入浴車
名称等	入浴車の運行				
担い手	大槌町				
概要	入浴車の運行による訪問入浴。送迎車による通所入浴も実施。				

3. 要介護者等入浴支援のご案内

町では、下記の方を対象に入浴支援サービスを実施しています。希望される方は下記
お問い合わせ先にお申し込みください。

対 象 者：寺野の自衛隊風呂に入浴することが困難な方

利 用 料：無料

入浴方法：①入浴車による訪問入浴

②送迎車による通所入浴

入 浴 日：申込み後調整し、ご連絡します。

必要な物：タオル、垢こすり、着替え

問合せ先：大槌町地域包括支援センター TEL090-2425-7225

(大槌町災害対策本部情報第9号 2011年4月18日)

事例 No	46	時期	応急期	類型	臨時入浴施設
名称等	入浴施設の設置				
担い手	自衛隊				
概要	自衛隊が入浴施設を設置。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、
新聞記事の転載は行っていない。

(「盛小に入浴施設 陸上自衛隊が設置進める」、東海新報 2011年3月21日)

事例 No	47	時期	応急期	類型	移動診療車
名称等	移動診療車の派遣				
担い手	日本歯科医師会				
概要	被災地の避難所等における歯科保健・歯科医療を実施するため、被災県歯科医師会の依頼に対し、日本歯科医師会を通じ、各県歯科医師会から移動診療車が提供・派遣されている。				

移動診療車の派遣状況（平成23年10月18日17時現在）

今般の地震災害で被災された多くの方が避難所等における避難生活を余儀なくされており、十分な歯科保健・歯科医療の提供を受けることができず、有病者や体力の低下したハイリスク者を含む高齢者の誤嚥性肺炎といった健康面への影響も懸念されています。

この度、被災地の避難所等における歯科保健・歯科医療を実施するにあたり、被災県歯科医師会より日本歯科医師会宛に移動診療車提供の依頼がありました。

これを受けて日本歯科医師会は千葉県歯科医師会を始め、各県歯科医師会に移動診療車の提供を依頼したところ、現在下記の通り移動診療車が提供・派遣されています。

派遣先	岩手県	宮城県	計
台数(10月18日時点)	1台	1台	2台

派遣期間	行先県	提供元	台数
5/26～	岩手県	日本歯科医師会	1台
5/2～8/26	宮城県	京都府歯科医師会	1台
4/15～4/末	岩手県	岐阜県歯科医師会	1台
4/7～5/9	宮城県	徳島県歯科医師会	1台
4/3～5/28	岩手県	愛知県歯科医師会	1台
4/3～6/末	宮城県	栃木県	1台
4/1～	宮城県	広島県歯科医師会	1台
3/31～4/14	岩手県	千葉県	1台

(日本歯科医師会HP)

事例 No	48	時期	応急期	類型	臨時診療所の開設
名称等	臨時救護所の開設				
担い手	聖マリア病院（福岡県久留米市）				
概要	福岡県久留米市聖マリア病院は 3/24 から 6/10 まで、陸前高田市の公民館に臨時の救護所を開設した。				

東日本大震災の被災地に臨時救護所を開設しました

東日本大震災の被災者の方々には心よりお見舞いを申し上げます。

当院では 24 日、岩手県よりの支援要請を受け、被災地のひとつ岩手県陸前高田市に臨時救護所を開設しました。当院の医療チームを順次派遣し、被災者の方々の医療に当たります。

医療チームは医師 2 名、看護師・薬剤師など 8 名の計 10 名で編成し、1 週間ずつ交代で 4 月末までの派遣を予定しています。

同時に当院では、検査機器や酸素ボンベなどの救援物資を積んだ救援車両 1 台を現地に送り出しました。

臨時救護所の設置場所は、甚大な津波被害に見舞われました陸前高田市・竹駒地区です。市内各地に設けられた避難所では、今もたくさんの被災者が避難生活をしていらっしゃいます。当院医療チームでは、岩手県立中央病院などと連携しながら、微力ではありますが被災者の方々への医療活動に全力を挙げる決意です。



救護所を開設した陸前高田市竹駒地区の公民館です



被災者の方々の診療にあたる聖マリア病院医療チームスタッフ（3月24日）

（聖マリア病院HP）

事例 No	49	時期	復旧期	類型	移動サービス
名称等	移動スーパー				
担い手	スーパーマイヤ				
概要	スーパーマイヤは 29 日から陸前高田市米崎町と小友町でトラックによる移動販売を行った。小友町では、避難所になっている正徳寺駐車場で冷蔵庫を完備したトラックと貨物トラックの 2 台で卵、納豆、大根などを販売。避難所付近を中心に 1 日 3、4 カ所を巡回。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、
新聞記事の転載は行っていない。

(「待ってた移動販売 マイヤが陸前高田で」、岩手日報 2011 年 3 月 30 日)

事例 No	50	時期	復旧期	類型	仮設店舗
名称等	仮設商店街の開設				
担い手	商店街				
概要	釜石市天神町では中小企業基盤整備機構の支援制度を活用した仮設の商店街「復興天神15商店街」を9月16日にオープンさせた。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、
新聞記事の転載は行っていない。

(「商店街再興へ心新た 釜石 仮設店舗がオープン」、岩手日報 2011年9月17日)

【参考：中小基盤整備機構による仮設店舗】

(独) 中小企業基盤整備機構による仮設店舗、仮設工場等の整備について

平成 23 年 4 月 11 日 中小企業庁

中小企業庁では、東日本大震災により被害を受けた地域において、独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「中小機構」）により、仮設店舗、仮設工場等の施設を整備することを決定しました。

また、仮設店舗、仮設工場等の設置に関する要望等を聴取するために、本日、中小企業庁及び中小機構等の職員を、被災地域に派遣しました。

中小企業庁では、被災地域の中小企業者や自治体、関係機関等の 1 日も早い復興に向けて、以下の支援を実施します。

1. 仮設店舗、仮設工場等の整備

中小企業庁では、東日本大震災により被害を受けた中小企業等の早期の事業活動の再開が重要であるとの観点から、これらの地域において、中小機構により仮設店舗、仮設工場等の整備を実施することを決定しました。

種々のタイプの仮設店舗、仮設工場等を用意し、想定される入居企業の要望や実態を踏まえつつ、自治体や関係者の方々と協議するとともに、協議が整ったところから、具体的な建設に着手する予定です。

2. 仮設店舗、仮設工場等の需要の調査

仮設店舗、仮設工場等の整備に当たり、中小企業庁、経済産業局、中小機構の職員を、東北地方及び関東地方の被災地域に派遣し、仮設店舗、仮設工場等の需要調査を実施します。

今回は、43人の職員を、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県に派遣し、既に設置されている復興支援のための3センター（中小企業復興支援センター仙台、中小企業復興支援センター盛岡、中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島）を拠点とし10を超えるチームに分かれて、県や関係機関と連携しながら、被災地域の市町村、商工会議所、商工会等と整備に関する計画について協議を行います。

事例 No	51	時期	復旧期	類型	買い物代行
名称等	買い物代行				
担い手	NPO法人「参画プランニング・いわて」				
概要	NPO法人参画プランニング・いわてでは、東日本大震災被災者を雇用し、野田村、宮古市、大槌町の3か所で、買い物代行業（日用品、食料品、雑貨など）を実施している。代行料は、1回につき100円。				

買い物代行「芽でるカー」 野田、宮古、大槌で実施中！

NPO法人参画プランニング・いわてでは、東日本大震災被災者を雇用し、野田村、宮古市、大槌町の3か所で、買い物代行業を行っています。日用品、食料品、雑貨などの買い物を代行します。（大型の商品についてはご相談ください）代行料は、1回につき100円です。

- 本事業は、盛岡市緊急雇用創出事業の委託事業です。

盛岡市緊急雇用創出事業



芽でるカー 野田
電話：090-7563-0249

買い物代行

日用品・食料品・雑貨などの
買い物を代行します。
大型の商品についてはご相談願います

代行料 1回につき
100円頂戴します。

事業主体：盛岡市・もりわか女性センター
事業実施主体：特定非営利活動法人参画プランニング・いわて

(NPO法人参画プランニング・いわてHP)

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、
新聞記事の転載は行っていない。

(「仮設高齢者の買い物代行 今秋からNPO 被災者雇用、安否確認も」、読売新聞 2011年8月4日)

